

令和 6 年度京都御苑中山邸跡木製格子塀改修工事

No	図 面 名 称
1	表紙・図面リスト
2	改修特記仕様書1
3	改修特記仕様書2
4	木質工事特記仕様書
5	建築材料等品質性能表(木造)
6	付近見取り図・配置図
7	全体平面図
8	全体立面図
9	現況詳細図
10	改修詳細図
11	改修木製部材一覧
12	改修全体平面図
13	北面改修立面図
14	西面改修立面図
15	東面改修立面図
16	仮設計画図

公園名称	京都御苑				
工事名称	令和6年度京都御苑中山邸跡木製格子塀改修工事				
図面名称	表紙・図面リスト	縮尺			
年月日	令和6年6月10日	図面番号	1	／ 16	
会社名	株式会社 環境・建築研究所	照査		設計	
事務所名	環境省京都御苑管理事務所	照査		設計	

京都御苑中山邸跡木製格子塀等改修工事

特記仕様書

I. 工事概要

1. 工事場所

京都府京都市上京区京都御苑3番地

2. 敷地面積

中山邸跡1,724㎡内、内陣（北面、東面、西面の木製格子塀）部分97.8㎡

3. 工事種目

木製格子塀 改修一式

4. 改修工事内容

中山邸跡の囲障である木製格子塀のうち北面、東面、西面について、腐朽した柱、控柱、土台、猫足等の撤去、新設を行う。
なお、控柱については、柱脚固定金具を新に設置設して長寿命化を図る。

5. 工 期

契約締結の日 から 令和7年1月21日 まで

6. 適用

1. 本特記仕様書は、「自然公園等工事共通仕様書（自然公園編）」（以下「共通仕様書」という。）でいう特記仕様書で、本工事に適用する。
2. 本工事は、営繕工事に於ける月単位の週休2日促進工事である。
3. 本工事の施工に係る一般事項は、共通仕様書による。
4. 各工事の詳細な仕様は、設計図に記載された改修特記仕様書、特記事項による。

7. 特記事項

1. 京都御苑に係る用途地域等

区分等	内容
名称（区分）	京都御苑（国民公園）
都市計画区域	都市計画区域内（市街化区域）
用途地域	第二種住居地域
防火地域	法22条地域
その他地域	特別用途地区（京都御苑国際文化交流促進・歴史的環境保全地区） 歴史的遺産型美観地区（一般地域） 屋外広告物規制区域（禁止地域） 眺望景観保全地域（境内の眺望） 周知の埋蔵文化財包蔵地 広域避難所 15m第一種高度地区 京都御苑鳥獣保護区（府指定）

8. 施行条件

・作業時間は、原則として午前8時30分から午後5時15分までとする。
・土曜日と日曜日及び祝祭日、年末年始（12月29日から1月3日まで）を作業の休止日とする。
・工事に着手する前に、地質条件や関連する周囲の状況等を含め十分に確認すること。
・工事に使用する重機などは、門扉により侵入できる傷員、高さが制限されるため、機構を適切に選定する。
・工事に当っては、別途「京都御苑内作業規程」（環境省京都御苑管理事務所）を厳守し、作業責任者は作業員の規律保持に留意する。
・作業車両の京都御苑への出入りは原則として「植木口」を使用し、必要により環境省京都御苑管理事務所職員（以下「監督職員」という）と協議した上、最小限の範囲で「今で川口」を使用する。苑内は、定められたルートと時速10km以下で安全に走行する。
・苑内に乗り入れる車両等には、環境省京都管理事務所が貸与する作業車両通行許可証を提出する。

常時

9. 一般共通事項

1. 工事完成図のサイズはA3とする。
2. 工事完成図はCADで作成し、DXF形式に変換して、印刷物とCADデータを合わせて提出する。
3. 工事写真は、A4の工事写真帳に整理して部提出することとし、写真はカラーでサービスサイズ程度とする。なお、「監督職員」と協議のうえ電子納品のみとする場合は、この限りではない。

II. 建築改修工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面、本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築木造工事標準仕様書（平成31年版〔平成31年〕）」（以下「木造標準仕様書」という。）による。
図面、本特記仕様書及び木造標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（平成31年）」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。

(2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。
(3) 受注者は完了検査（中間検査を含む）時には、特定行政庁（建築主等）が求める検査に必要な資料等（報告書等）を用意すること。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。
○印のつかない場合は、※印のついたものを適用する。
○印と⊗印のついた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の[]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の()内表示番号は、木造標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) 図中の数字番号(○、○○、○注)には数字が入るは、「建築工事標準詳細図（平成28年版）」の分類番号を指す。
(6) [包]は「図等による環境物品等の調達に関する法律」（平成12年法律第100号）に基づく「環境物品等の調達に関する基本方針（令和2年2月7日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」）においては表1中の品目ごとの判断の基準を満たすものとする。
(7) 改修標準仕様書及び標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守[1. 1. 13]の規定を優先する。

章

項目

特記事項

1 一般共通事項

① 適用基準等

1) 図面、本特記仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。
・建築物解体工事共通仕様書（平成24年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部
・
2) 本設計図書における「標準詳細図」とは、次の基準を指す。
建築工事標準詳細図（平成28年版） 国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
○風圧力
風速（V0=32m/s）
地表面粗度区分（Ⅲ）
・積雪荷重
平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域 別表（ ）
・多雪区域の指定 ・あり ○なし
※ 行う ・行わない [1. 1. 4]

② 関係法令等

設備工事との取合い ※ 図示（工事区分表による） [1. 1. 7]
※ 適用する ・適用しない [1. 3. 3]
電気工作物の種類

③ 工事実績情報の登録

4. 別契約の関連工事 [1. 1. 7]
5. 電気保安技術者等 [1. 3. 3]
事業用電気工作物に係る工事は、国土交通省近畿地方整備局営繕工事事業用電気工作物保安規程を（※ 適用 ○準用）し、第11条に定める電気保安技術者をおくものとする。また、この者は、標準仕様書又は改修標準仕様書による電気保安技術者と兼務することができる。

④ 工期中 ・ 執務並行改修 ○ 工事エリア内無人 改修 [1. 3. 5]
○ その他（ 工事補足説明等による ）

⑤ 発生材の処理等

特別管理産業廃棄物 [1. 3. 12]

・ 廃石綿等	
・ PCB含有物	
・ PCB含有シーリング材	

・ 現場において再利用を図るもの（ ） [1. 3. 12]
○ 引渡しを要するもの（○金属類等） [1. 3. 12]
○ 再資源化を図るもの ※工事補足説明事項による [1. 3. 12]
○ その他発生材 ※工事補足説明事項による（ ） [1. 3. 12]
・ アスベスト含有成形板 [1. 3. 12]
※工事補足説明事項による

⑥ 環境への配慮

1) 建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、断熱材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
②接着剤及び塗料は、ホルゲン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③接着剤は、可塑性（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-n-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が追加されていない材料を使用する。
④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
2) 設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
①建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 [1. 4. 2]

⑦ 材料の品質等

1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
2) 備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用の場合は監督職員の承諾を受ける。
3) 標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。
4) 本工事に使用する材料のうち、5) に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書等の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
5) 製造業者等に関する資料の提出を求める材料

品 目	細 目
床使用鋼製デッキプレート	
鉄骨柱下無収縮モルタル	
無収縮グラウト材	
乾式保護材	
透水・保水性床材及びDm	
既製鋼合材板（外気工用）	
ルーフドレイン	
雨水調整材	
錠前類	a. 本線まり付き錠 b. シリカ錠 c. シリカ本線まり錠
クローザ類	a. ドアクローザ b. ヒンジクローザ c. フロアヒンジ
自動扉機構	a. 制御装置・駆動装置 b. 検出装置
自閉式上吊り引き戸機構	
重量シャッター	
軽量シャッター	
オーバーヘッドドア	
防水剤	
現場発泡断熱材（特定70によるものを除く）	
フリーアクセスフロア	
可動間仕切	
移動間仕切	
トイレブース	
煙突用成形ライニング材	
天井点検口	
床点検口	
グレーチング	
人工屋上緑化用システム	
トップライト	
エポキシ樹脂	
タイル部分遮断用接着剤	
ポリマーセメントモルタル	
既製鋼合目地材	
緑化敷土	

 [1. 4. 2]

章

項目

特記事項

1 一般共通事項

① 技能士

※ 適用する [1. 6. 2]
・ 適用しない

工事種目	適用する技能士の技能検定における選択作業
仮設工事	○ とび作業
防水改修工事	・ フル材防水工事作業 ・ カタゾム系塗膜防水工事作業 ・ フル材系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ ケーブル防水工事作業 ・ 改質アクリルシート法防水工事作業 ・ 内外装板金作業 ・ スレート工事作業 ・ 樹脂接着剤注入工事作業
外壁改修工事	○ 左官作業 ・ タイル張り作業
建具改修工事	・ ビル用サッシ施工作業 ・ ガラス工事作業 ・ 自動ドア施工作業
内装改修工事	○ 大工工事作業 ・ 鋼製下地工事作業 ・ 内外装板金作業 ・ プラスチック系床仕上工事作業 ・ カーベット系床仕上作業 ・ ボード仕上工事作業 ・ 壁紙作業 ・ 左官作業 ・ タイル張り作業
塗装改修工事	○ 建築塗装作業
耐震改修工事	・ 鉄筋組立作業 ・ 型枠工事作業 ・ コンクリート圧送工事作業 ・ 構造物鉄工作業 ・ とび作業
環境配慮改修工事	・ 建築配管作業 ・ 溶融バミルドマート工事作業 ・ 加熱バミルドマート工事作業 ・ 造園工事作業

※ 測定する [1. 6. 9]
測定箇所数
・ 8時間測定（ ）箇所
※ 24時間測定（ ）箇所

測定対象室及び箇所数	※ 仕上表による ・ 図示
測定対象物質	※ 室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン

※ 測定はバッシン型採取機器により行う。
測定対象物質の濃度を測定し、報告すること。
着工前の測定
・ 行う ・行わない
測定対象室及び測定箇所数
※ 引渡前の測定と同じ ・仕上表による ・図示

② 地中埋設物等

標準仕様書又は改修標準仕様書によるほか、下記による。 [1. 3. 7]
施工前に、当該工事に係る地中埋設物等（建物内又は既設コンクリート内の既設配管・配線も含む）について事前調査を行う。既設埋設物の位置及び既設埋設配管の経路等が不明な場合は、探査方法及び試験掘り方法を監督職員と協議する。

2 仮設工事

1. 騒音・粉塵等の対策

・ 防音パネル
・ 防音シート
・ 防音パネル等を取り付ける足場等の設置位置 [2. 1. 3]

② 足場その他

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり据置方式又は（3）手すり先行専用足場方式により行う。
外部足場
○ 設置する（ 設置範囲○ 図示・ ）
・ 設置しない
内部足場
・ 設置する（ ※ 脚立、足場板等・ ）
・ 設置しない
防護シート
○ 図示 ・、)

③ 材料、撤去等の運搬方法

2. 2. 1
種別・A種・B種・C種・D種・E種
C種：利用可能なエレベーター（ ）
D種：利用可能な階段（ ）

3. 既存部分の養生

2. 3. 1
1) 養生の方法等
・ 既存部分 養生の方法（※ビニルシート、合板等・ ）
・ 既存家具、既存設備等 養生の方法（※ビニルシート等・ ）
・ 既存フラインド、カーテン等 養生の方法（・ ビニルシート等・ ）
・ 備品、机、ロッカー等の移動（・ 図示 ）
地下1.2.3.4階ホール等で保管
2) 既存部分に汚染又は損傷を及ぼすおそれのある場合は養生を行う。また万一損傷等を考えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の措置を行う。
2. 3. 2
1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・ 図示 ・
2) 仮設間仕切りの種別と材質等 [表2. 3. 1]

種別	下地	仕上げ（厚さmm）	塗装	充填
・ A種	・ 木	・ せつこうボード（9.5mm）	・ 無し	・ グラスウール
・ B種	・ 軽量鉄骨	・ 合板（9mm）	・ 片面	

※C種 単管 防炎シート

3) 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	備考
※木製	※合板張り程度	・ 無し	
・	・	・ 片面	

5. 監督職員事務所

・ 設ける ○ 設けない
・ 既存建物の一部を使用する
・ 構内に新設
規模（・ 10 ・ 20 ・ 35 ・ ）㎡程度
仕上の程度 下表を標準とする

部位等	仕上げ
床	合板張り又はビニル床シート張り
内窓・天井	合板又はせつこうボード張り、合成樹脂エマルジョンペイント塗り
床面	滑溜滑動重荷めつき鋼板張り、又は鉄板張り、鋼合ペイント塗り

監督職員事務所の備品等
・ 設ける（種数及び数量は監督職員の指示による） ・ 設けない
構内既存の施設 ○ 利用できる（※ 有償 ・ 無償 ） ・ 利用できない
構内既存の施設 ○ 利用できる（※ 有償 ・ 無償 ） ・ 利用できない

④ 工事用水

⑤ 工事用電力

⑥ 取扱い等

種 類	設置場所	設置期間
・ 万能曜	・ 高さ2.0m	
・ フェンスバリケード	・ 高さ3.0m	6か月
・ キャスターゲート 幅	・ 高さ1.8m	6か月
・ 交通誘導員	2 箇所	6か月
		15人・日

章

項目

特記事項

3 外壁改修工事 共通事項

① 施工数量調査

調査範囲 ○ 土渠改修範囲 ・ 図示の範囲 [1. 5. 2. 3]
調査内容 土渠表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示し、下地の欠損部の形状寸法等を調査する。
土渠屋根瓦の劣化損傷の状態を調査する。
調査方法 目視及び打診程度
既存部分の破壊を行なう場合の補修方法 ・ 図示 ○ おこなわない
調査報告書の部数 ○ 全部

② 建設発生土の処理

○ 葬苑内指示の場所に敷き均し

③ 表面処理

・ 剥製品 酸化着色（黒色）
・ 鉄製品 アクリル樹脂焼付塗装（黒色）
2コート、2ペーパー膜厚40μとする（ただし、プライマーを除く）

公園名称

京都御苑

工事名称

令和6年度京都御苑中山邸跡木製格子塀改修工事

図面名称

改修特記仕様書 1

縮尺

年月日

令和6年6月10日

図面番号

2 / 16

会社名

株式会社 環境・建築研究所

照査

設計

事務所名

環境省京都御苑管理事務所

照査

設計

項 目		特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項	章																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
木工事	①材料	<10. 2. 2> 木工事に使用する木材等は、使用材料表 1 による <10. 2. 3> 木工事に使用する合板等は、使用材料表10による <10. 2. 4> ・釘 ・JIS A 5508 材質（鉄） ・JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質（） ・造作材化靱面の釘打ち ※隠し釘打ち・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち・釘頭現し ・木ねじ ・JIS B 1112 又は JIS B 1135 材質 ※ステンレス ・JIS B 1112 又は JIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質（）		4. 粘土瓦葺	<14. 5. 2, 3><table><tr><th colspan="2">種類</th><th colspan="6">役物</th><th rowspan="2">大きさ</th><th rowspan="2">産地等</th></tr><tr><th>形状による区分</th><th>製法による区分</th><th>寸法による区分</th><th>軒瓦</th><th>壁面戸瓦</th><th>のし瓦</th><th>葺瓦</th><th>巴瓦</th><th>敷き平瓦</th></tr><tr><td>・J形瓦</td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td rowspan="3">※図示</td></tr><tr><td>・S形瓦</td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・F形瓦</td><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr><tr><td>・本瓦</td><td>いぶし瓦</td><td>※図示</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>指定なし</td></tr></table> 補強用心木はステンレス製とする。（図示） 工法 建築基準法に基づく風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法 緊結線併用土工葺工法 ※図示 材料 ・既存の瓦を解体し、劣化状況を点検の上再利用し、劣化の進んだものは交換する。 ・交換する瓦は、保管品を支給する。 ・支給品が不足する場合は、新規に制作するものとする。 ・新規瓦は、在来の紋様形状寸法に倣って作成し、見本品を提出する。 ・新規瓦は下記の条件をみたすものとする。 1) 焼成1000℃以上を6時間以上持続し、最高温度を1100℃以上とする。 2) 吸水率10%以下（工業試験場の試験成績表を提出）の片面層耐水性日本瓦とする。 ・新規瓦には裏に修理年度を刻印する。 ・葺土は、粘土に6cm前後の葺すさを適量混入して十分練り返したものとする。 ・桧木は設けない 工法 ・本瓦葺の工法は、次による。 (1) 平瓦は土葺とし、桧木は設けない。左官下地（土居葺）上部に筋葺きの要領で施工する。 (2) 平葺は、既存の割り付けに従って軒先及び妻側の瓦割を行い、数平瓦を数込み、軒唐草瓦を敷込む。又、軒唐草瓦は、18番銅線にてすべて下地に繋ぎ止める。 (3) 軒巴瓦は、すべて16番銅線にてステンレスの心木下地に繋ぎ止める。 (4) 素丸瓦は、全数18番銅線にて全数を下地のステンレス心木に18番銅線で緊結し、瓦下は雨垂塗装を割り込む。 棟の工法 ※7寸丸伏せ様・のし積み様・図示 ・棟積の工法は、次による。 (1) 棟積は、棟積み偏数は既存に倣って通り違いに、肌のし瓦より順次雨垂塗装を十分割り込みつつ通りよく丁寧に積上げる。 (2) のし瓦、棟瓦部分は、全数を下地のステンレス心木に18番銅線で緊結する。 棟の工法 ・木造標準仕様書14. 5. 3(5) (7) から(12)までによる <table><tr><th>種類</th><th>寸法 (mm) (全長×全幅)</th><th>役物 棟 けらば</th><th>着色 (色調)</th><th>備考</th></tr><tr><td>・平形</td><td></td><td>・</td><td>・無・有()</td><td></td></tr><tr><td>・波形</td><td></td><td>・</td><td>・無・有()</td><td></td></tr></table> 工法 建築基準法に基づく風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法 雪止め・設置する（図示） <table><tr><th>品質</th><th>形状</th><th>色調</th><th>寸法 (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 工法 建築基準法に基づく風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法 軒先、けらば等に曲面を設ける場合 ※半径500mm以上 雪止め・設置する（図示） <14. 8. 2, 3>表14. 8. 1> ・金属板（銅板を除く。） 種類 板厚 ・谷どい 種類 板厚 ・銅板 板厚 ※一般部0. 35mm、谷どい部0. 4mm ・硬質塩化ビニル樹脂 種類（） 外径（） 厚さ（） 長さ（） ・受金物 材質 形状 足金物 材質 形状 多雪地域 材質 形状 硬質塩化ビニル製集水器の形状 硬質塩化ビニル製あんこうの形状	種類		役物						大きさ	産地等	形状による区分	製法による区分	寸法による区分	軒瓦	壁面戸瓦	のし瓦	葺瓦	巴瓦	敷き平瓦	・J形瓦			・	・	・	・	・	・	※図示	・S形瓦			・	・	・	・	・	・	・F形瓦			・	・	・	・	・	・	・本瓦	いぶし瓦	※図示	・	・	・	・	・	・	指定なし	種類	寸法 (mm) (全長×全幅)	役物 棟 けらば	着色 (色調)	備考	・平形		・	・無・有()		・波形		・	・無・有()		品質	形状	色調	寸法 (mm)	備考																	2. ラス系下地	ラス系下地 (15. 2. 4) ・通気工法単層下地 換気口部の防水処理 ・通気工法二層下地 見え隠れ部分 ・直張りラスモルタル下地 ・直張りラスシートモルタル下地 ・耐力壁、防火構造、準防火構造等の指定（） ラスの材料 素材による区分（） 種類（） 単位面積当たりの質量（） ・せっこう系・セメント系 (15. 5. 2)（表15. 5. 1） 建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 仕上塗材の種類 <table><tr><th>種類</th><th>呼び名</th><th>防火材料</th><th>仕上げの形状及び工法等</th></tr><tr><td rowspan="10">・薄付け仕上塗材</td><td>・外装薄塗材 S i</td><td>・</td><td>・砂壁状 ・ゆず肌状（・吹付け・ローラー塗り）</td></tr><tr><td>・可とう形外装薄塗材 S i</td><td>・</td><td>・さざ波状</td></tr><tr><td>・外装薄塗材 E</td><td>・</td><td>・平坦状</td></tr><tr><td>・可とう形外装薄塗材 E</td><td>・</td><td>・凹凸状（・吹付け・こて塗り）</td></tr><tr><td>・防水形外装薄塗材 E</td><td>・</td><td>・砂壁状じゅらく</td></tr><tr><td>・外装薄塗材 C</td><td>・</td><td>・着色骨材砂壁状（・吹付け・こて塗り）</td></tr><tr><td>・内装薄塗材 C</td><td>・</td><td>・砂壁状じゅらく</td></tr><tr><td>・内装薄塗材 L</td><td>・</td><td>・京壁状じゅらく</td></tr><tr><td>・内装薄塗材 S i</td><td>・</td><td>・吸放湿性・適用する・適用しない</td></tr><tr><td>・内装薄塗材 W</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td rowspan="8">・厚付け仕上塗材</td><td>・外装厚塗材 C</td><td>・</td><td>・吹放し・凸部処理・平坦状</td></tr><tr><td>・外装厚塗材 S i</td><td>・</td><td>・凹凸状・ひき起こし・かき落とし</td></tr><tr><td>・外装厚塗材 E</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・内装厚塗材 C</td><td>・</td><td>・吸放湿性・適用する・適用しない</td></tr><tr><td>・内装厚塗材 L</td><td>・</td><td>・上塗材・適用する・適用しない</td></tr><tr><td>・内装厚塗材 G</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・内装厚塗材 S i</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・内装厚塗材 E</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td rowspan="6">・複層仕上塗材</td><td>・複層塗材 C E</td><td>・</td><td>・ゆず肌状・凸部処理・凹凸模様 上塗材</td></tr><tr><td>・可とう形複層塗材 C E</td><td>・</td><td>・耐水性 ※耐候形 3 種 ・滑様 ※水系・溶剤系 樹脂 ※アクリル系</td></tr><tr><td>・複層塗材 S i</td><td>・</td><td>・外観 ※つやあり・つやなし・メタリック</td></tr><tr><td>・複層塗材 E</td><td>・</td><td>・増塗材・適用する・適用しない</td></tr><tr><td>・防水形複層塗材 C E</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・防水形複層塗材 E</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">・軽量骨材仕上塗材</td><td>・吹付け軽量塗材</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td>・こて塗用軽量塗材</td><td>・</td><td></td></tr></table> 内壁目地の形状・※V形目地付き (15. 6. 4) 種類・A種・B種 (15. 7. 2) 下塗り ・既調合プラスター（下塗り用） ・現場調合プラスター（下塗り用） 上塗り ・既調合プラスター（上塗り用） ・しゅくい塗り ロックウールのホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 仕上げ吹付け厚さ (mm) ・図示・25 しゅくい ・現場調合材料 ※標準仕様書15. 10. 2(1) (7) による ・既調合材料 製造所（） 種類（） 下地 土留下塗りおよび一部木すり（土留輪部分） 調査及び塗厚（ただし、塗厚は、同一10／18による） ・木すり下地の場合 ※標準仕様書表15. 10. 1 ・こまい土壁下地の場合 ※標準仕様書表15. 10. 2 (15. 11. 2, 3, 4, 5, 7, 8) のり ・土壁用ののり ※つものまた・ふのり・ぎんなんそう・粉末海藻 ・砂壁用ののり ※ふのり・つものまた・こんにゃくのり ・にかわ・合成樹脂系混和剤 色土 ・土物仕上けに用いる色土の種類（） ・大津仕上げに用いる色土の種類（） 色砂の種類 ・天然砂と岩石の砕砂 ・人工的に着色・製造したもの 調査 下塗りの調査 ※標準仕様書表15. 11. 2 塗厚 ※標準仕様書表15. 11. 3による ・建築基準法に基づく耐力壁の指定がある場合（） シート厚 0. 69mm ・土物仕上げ 種類 ・土物仕上げ工法 ・水こね土物 2 工法 ・のりさし土物工法 ・のりこね土物工法 ・砂壁仕上げ工法 ・切返し仕上げ工法 ・大津仕上げ 種類 ・普通大津仕上げ工法 ・大津みがき仕上げ工法	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i	・	・砂壁状 ・ゆず肌状（・吹付け・ローラー塗り）	・可とう形外装薄塗材 S i	・	・さざ波状	・外装薄塗材 E	・	・平坦状	・可とう形外装薄塗材 E	・	・凹凸状（・吹付け・こて塗り）	・防水形外装薄塗材 E	・	・砂壁状じゅらく	・外装薄塗材 C	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け・こて塗り）	・内装薄塗材 C	・	・砂壁状じゅらく	・内装薄塗材 L	・	・京壁状じゅらく	・内装薄塗材 S i	・	・吸放湿性・適用する・適用しない	・内装薄塗材 W	・		・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材 C	・	・吹放し・凸部処理・平坦状	・外装厚塗材 S i	・	・凹凸状・ひき起こし・かき落とし	・外装厚塗材 E	・		・内装厚塗材 C	・	・吸放湿性・適用する・適用しない	・内装厚塗材 L	・	・上塗材・適用する・適用しない	・内装厚塗材 G	・		・内装厚塗材 S i	・		・内装厚塗材 E	・		・複層仕上塗材	・複層塗材 C E	・	・ゆず肌状・凸部処理・凹凸模様 上塗材	・可とう形複層塗材 C E	・	・耐水性 ※耐候形 3 種 ・滑様 ※水系・溶剤系 樹脂 ※アクリル系	・複層塗材 S i	・	・外観 ※つやあり・つやなし・メタリック	・複層塗材 E	・	・増塗材・適用する・適用しない	・防水形複層塗材 C E	・		・防水形複層塗材 E	・		・軽量骨材仕上塗材	・吹付け軽量塗材	・		・こて塗用軽量塗材	・			3. 錆止め塗料塗り	(18. 3. 2, 3)<table><tr><th colspan="2">下地面等</th><th>工程の種類</th><th>塗料の種類</th></tr><tr><td rowspan="2">鉄鋼面</td><td>見え隠れ部分</td><td>※A種・B種</td><td>・A種・B種 EP-G(屋内)の場合 ※B種・A種</td></tr><tr><td>見え隠れ部分</td><td>※B種・A種</td><td>※A種・B種・C種 (EP-G(屋内)の場合+C種)</td></tr><tr><td rowspan="2">亜鉛めっき鋼面</td><td>鋼製建具等</td><td>※A種・B種</td><td></td></tr><tr><td>鋼製建具等以外</td><td>※B種・A種</td><td></td></tr></table> (18. 4. 1～18. 14. 2)<table><tr><th>塗装</th><th>種類</th><th>塗料の種類</th><th>使用部位</th></tr><tr><td rowspan="5">・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)</td><td>木部屋外</td><td>※A種・B種</td><td>※1種・2種</td></tr><tr><td>木部屋内</td><td>※B種・A種</td><td>※1種・2種</td></tr><tr><td>鉄鋼面</td><td>※B種・A種</td><td>※1種・2種</td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td>—</td><td>※1種・2種</td></tr><tr><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td colspan="2">・クリヤラッカー塗り (CL)</td><td>※B種・A種</td><td>—</td></tr><tr><td colspan="2">・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)</td><td>※B種・A種</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="2">・耐水性塗料塗り (DP)</td><td>鉄鋼面</td><td>—</td><td>上塗り塗料の等級 (1) 級</td></tr><tr><td>亜鉛めっき鋼面</td><td>・A種・B種 ・C種</td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)</td><td>コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面その他ボード面等</td><td>※B種・A種</td><td>—</td></tr><tr><td>屋内の鉄鋼面</td><td>※B種・A種</td><td>—</td></tr><tr><td colspan="2">・合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)</td><td>※B種・A種</td><td>—</td></tr><tr><td colspan="2">・合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T)</td><td>※B種・A種</td><td>—</td></tr><tr><td colspan="2">・ウレタン樹脂ニス塗り (UC)</td><td>※B種・A種</td><td>—</td></tr><tr><td rowspan="2">・オイルステイン塗り (OS)</td><td>塗料： ・水性 ・油性</td><td>—</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="2">・木材保護塗料塗り (WP)</td><td>※B種・A種</td><td>—</td></tr></table> 高日射反射率塗装Eに適用する場合の適用箇所は屋上、屋根面の金属面とする。	下地面等		工程の種類	塗料の種類	鉄鋼面	見え隠れ部分	※A種・B種	・A種・B種 EP-G(屋内)の場合 ※B種・A種	見え隠れ部分	※B種・A種	※A種・B種・C種 (EP-G(屋内)の場合+C種)	亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	※A種・B種		鋼製建具等以外	※B種・A種		塗装	種類	塗料の種類	使用部位	・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※A種・B種	※1種・2種	木部屋内	※B種・A種	※1種・2種	鉄鋼面	※B種・A種	※1種・2種	亜鉛めっき鋼面	—	※1種・2種	—	—	—	・クリヤラッカー塗り (CL)		※B種・A種	—	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		※B種・A種	—	・耐水性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	—	上塗り塗料の等級 (1) 級	亜鉛めっき鋼面	・A種・B種 ・C種		・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面その他ボード面等	※B種・A種	—	屋内の鉄鋼面	※B種・A種	—	・合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)		※B種・A種	—	・合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T)		※B種・A種	—	・ウレタン樹脂ニス塗り (UC)		※B種・A種	—	・オイルステイン塗り (OS)	塗料： ・水性 ・油性	—					・木材保護塗料塗り (WP)		※B種・A種	—	21 排水工事	1. 屋外雨水排水 (21. 2. 1. 2)（表21. 2. 1. 2）	材料<table><tr><th>材質</th><th>種類・記号</th><th>形状</th><th>呼び径</th><th>備考</th></tr><tr><td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td><td>外圧管（1種）</td><td>・B形管</td><td>・図示</td><td></td></tr><tr><td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>・R F－V P 6 ・R S－V U 6 ・V P ・V U</td><td></td><td>・図示 ・図示 ・図示 ・図示</td><td></td></tr></table> 基礎の厚さ及び種類 図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 ※（21. 2. 1）(g) (1)・図示 側溝の形状及び寸法 図示 排水側の種類 図示 砂地案に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・山砂 ・砂砂 砂利地案に用いる材料 ・再生クワツチャラン6 ・切込砂利又は切込砕石 ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm2 ・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※SD295A ・現場打ちの場合の足金物 ※標準仕様書21. 2. 2 (6) (f) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの 凍上抑制層に用いる材料 ・砂の粒度試験 ・行う ・行わない (21. 2. 1) 側溝、排水側等 形状及び寸法 砂地案に用いる材料 ※（21. 2. 1）(g) (1)・図示 砂利地案に用いる材料 ※（21. 2. 1）(g) (2)・図示 コンクリート基礎等に用いる材料 ※（6. 14） 設計基準強度 18N/mm2とする。ただし、コンクリートが簡易な場合の調査（容積比） セメント 1：砂 2：砂利 4程度とする。 図示 凍上抑制層に用いる材料 ・砂の粒度試験 ・行う ・行わない (21. 2. 1) 3. 錆鉄筋ふた 名称 種類 適用荷重 鍵 備考 鉄筋製マンホールふた ・水封形 ・簡易密閉形（パッキン式） ・密閉形（テーパー・パッキン式） ・中ふた付き密閉形（テーパー・パッキン式） ・T-2用 ・T-6用 ・T-20用 ・有り ・無し 左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による。 共通事項：雨落溝は土壁への水跳ね防止を目的とする。 設置レベルは、起伏のある現況地盤との関係を考慮し、監督職員と協議の上設定する。 既存雨落溝の補修 施工範囲：図示 施工内容：表面すき取りの上、既存縁石（自然石）変形箇所の据え直し、調整。 側溝内 安曇川砂利φ15、厚50mm敷 雨落溝の新設 施工範囲：図示 施工内容：地表面すき取りの上、地先境界ブロックにて整形。 側溝内 安曇川砂利φ15、厚50mm敷 材料 ※4層スパンボンド不織布 ポリプロピレン樹脂両面コーティング素材 シート厚 0. 6mm以上 防根シートの寸法および施工範囲 ※図示	材質	種類・記号	形状	呼び径	備考	・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（1種）	・B形管	・図示		・硬質ポリ塩化ビニル管	・R F－V P 6 ・R S－V U 6 ・V P ・V U		・図示 ・図示 ・図示 ・図示		21 排水工事	1. 街楽縁石および側溝 (21. 3. 1. 2)（表21. 3. 1. 1）	<table><tr><th>公園名称</th><th colspan="3">京都御苑</th></tr><tr><th>工事名称</th><td colspan="3">令和6年度京都御苑中山邸跡木製格子塀改修工事</td></tr><tr><th>図面名称</th><td>改修特記仕様書 2</td><th>縮尺</th><td></td></tr><tr><th>年月日</th><td>令和6年6月10日</td><th>図面番号</th><td>3 / 16</td></tr><tr><th>会社名</th><td>株式会社 環境・建築研究所</td><th>照査</th><td>設計</td></tr><tr><th>事務所名</th><td>環境省京都御苑管理事務所</td><th>照査</th><td>設計</td></tr></table>	公園名称	京都御苑			工事名称	令和6年度京都御苑中山邸跡木製格子塀改修工事			図面名称	改修特記仕様書 2	縮尺		年月日	令和6年6月10日	図面番号	3 / 16	会社名	株式会社 環境・建築研究所	照査	設計	事務所名	環境省京都御苑管理事務所	照査	設計
	種類		役物						大きさ	産地等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	形状による区分	製法による区分	寸法による区分	軒瓦	壁面戸瓦	のし瓦	葺瓦	巴瓦			敷き平瓦																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・J形瓦			・	・	・	・	・	・	※図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	・S形瓦			・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・F形瓦			・	・	・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
・本瓦	いぶし瓦	※図示	・	・	・	・	・	・	指定なし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	寸法 (mm) (全長×全幅)	役物 棟 けらば	着色 (色調)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・平形		・	・無・有()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・波形		・	・無・有()																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
品質	形状	色調	寸法 (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i	・	・砂壁状 ・ゆず肌状（・吹付け・ローラー塗り）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・可とう形外装薄塗材 S i	・	・さざ波状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・外装薄塗材 E	・	・平坦状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・可とう形外装薄塗材 E	・	・凹凸状（・吹付け・こて塗り）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・防水形外装薄塗材 E	・	・砂壁状じゅらく																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・外装薄塗材 C	・	・着色骨材砂壁状（・吹付け・こて塗り）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・内装薄塗材 C	・	・砂壁状じゅらく																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・内装薄塗材 L	・	・京壁状じゅらく																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・内装薄塗材 S i	・	・吸放湿性・適用する・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・内装薄塗材 W	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材 C	・	・吹放し・凸部処理・平坦状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・外装厚塗材 S i	・	・凹凸状・ひき起こし・かき落とし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・外装厚塗材 E	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・内装厚塗材 C	・	・吸放湿性・適用する・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・内装厚塗材 L	・	・上塗材・適用する・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・内装厚塗材 G	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・内装厚塗材 S i	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・内装厚塗材 E	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・複層仕上塗材	・複層塗材 C E	・	・ゆず肌状・凸部処理・凹凸模様 上塗材																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・可とう形複層塗材 C E	・	・耐水性 ※耐候形 3 種 ・滑様 ※水系・溶剤系 樹脂 ※アクリル系																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・複層塗材 S i	・	・外観 ※つやあり・つやなし・メタリック																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・複層塗材 E	・	・増塗材・適用する・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	・防水形複層塗材 C E	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・防水形複層塗材 E	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・軽量骨材仕上塗材	・吹付け軽量塗材	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	・こて塗用軽量塗材	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
下地面等		工程の種類	塗料の種類																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
鉄鋼面	見え隠れ部分	※A種・B種	・A種・B種 EP-G(屋内)の場合 ※B種・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	見え隠れ部分	※B種・A種	※A種・B種・C種 (EP-G(屋内)の場合+C種)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
亜鉛めっき鋼面	鋼製建具等	※A種・B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	鋼製建具等以外	※B種・A種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
塗装	種類	塗料の種類	使用部位																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・合成樹脂調合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※A種・B種	※1種・2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	木部屋内	※B種・A種	※1種・2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	鉄鋼面	※B種・A種	※1種・2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	亜鉛めっき鋼面	—	※1種・2種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・クリヤラッカー塗り (CL)		※B種・A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り (NAD)		※B種・A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・耐水性塗料塗り (DP)	鉄鋼面	—	上塗り塗料の等級 (1) 級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	亜鉛めっき鋼面	・A種・B種 ・C種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・つや有合成樹脂エマルションペイント塗り (EP-G)	コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面その他ボード面等	※B種・A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
	屋内の鉄鋼面	※B種・A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・合成樹脂エマルションペイント塗り (EP)		※B種・A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り (EP-T)		※B種・A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・ウレタン樹脂ニス塗り (UC)		※B種・A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・オイルステイン塗り (OS)	塗料： ・水性 ・油性	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
・木材保護塗料塗り (WP)		※B種・A種	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
材質	種類・記号	形状	呼び径	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管（1種）	・B形管	・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
・硬質ポリ塩化ビニル管	・R F－V P 6 ・R S－V U 6 ・V P ・V U		・図示 ・図示 ・図示 ・図示																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
公園名称	京都御苑																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
工事名称	令和6年度京都御苑中山邸跡木製格子塀改修工事																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
図面名称	改修特記仕様書 2	縮尺																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
年月日	令和6年6月10日	図面番号	3 / 16																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
会社名	株式会社 環境・建築研究所	照査	設計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
事務所名	環境省京都御苑管理事務所	照査	設計																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
14 屋根及びとい工事	①材料	カラスステン板 曲加工 <14. 2. 2>		5. スレート葺	<14. 6. 2> ・木造標準仕様書14. 5. 3(5) (7) から(12)までによる		18 塗装工事	1. 材料 (18. 1. 3) ②素地ごしらえ (18. 2. 2～7)		21 排水工事	1. 街楽縁石および側溝 (21. 3. 1. 2)（表21. 3. 1. 1）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
	②金属板葺	<14. 3. 2～8><table><tr><th>板及びコイルの種類</th><th>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号</th><th>厚さ (mm)</th><th>屋根葺形式</th><th>固定釘等の材質</th></tr><tr><td>※JIS G 3322の屋根用コイル</td><td></td><td></td><td>・平葺（一文字葺） ・心木あり瓦棒葺 ・心木なし瓦棒葺 ・横葺 ・立平葺</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 心木の防蟻・防蟻処理方法（） ・平葺（一文字葺）の工法 ※図示 ・はぜの作り方 ・心木あり瓦棒葺の工法 ・銅板以外の板による屋根一般部分の工法 溝板及びキャップの留付け方法 ※木造標準仕様書14. 3. 5(3) (7) (a)による 瓦棒の間隔 ※図示 ・銅板による屋根一般部分の工法 瓦棒の間隔 ※図示 ・心木なし瓦棒葺の工法 屋根の流れ方向に並行な壁との取合い部 ・雨押さえを付ける場合 ※木造標準仕様書14. 3. 6(4) (f) (a)による ・雨押さえを用いない場合 ※木造標準仕様書14. 3. 6(4) (f) (b)による 工法 吊子、各部の釘の留付け間隔 ・図示 建築基準法に基づく風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法 雪止め・設置する（施工箇所・図示） <14. 4. 2, 3>表14. 3. 1><table><tr><th>施工箇所</th><th>形式</th><th>山高、山ピッチによる区分</th><th>耐力による区分</th><th>材料による区分</th><th>厚さ (mm)</th><th>軒先面戸板</th><th>耐火性能</th></tr><tr><td></td><td>・重ね形 ・はぜ縫形</td><td></td><td>（）種</td><td></td><td></td><td>・有り ・無し</td><td>・30分 ・無し</td></tr><tr><td></td><td>・</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 材料 板及びコイルの種類（） 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号（） 断熱材 ・有り（種類： 厚さ (mm)： 防火性能： 時間） ・無し タイトフレームを留め付ける下地材<table><tr><th>材質</th><th>形状</th><th>寸法</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> 工法 建築基準法に基づく風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等の材質	※JIS G 3322の屋根用コイル			・平葺（一文字葺） ・心木あり瓦棒葺 ・心木なし瓦棒葺 ・横葺 ・立平葺												施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	軒先面戸板	耐火性能		・重ね形 ・はぜ縫形		（）種			・有り ・無し	・30分 ・無し		・							材質	形状	寸法					6. アスファルトシングル葺	<14. 7. 2><table><tr><th>品質</th><th>形状</th><th>色調</th><th>寸法 (mm)</th><th>備考</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> 工法 建築基準法に基づく風圧力の（・1・1.15・1.3）倍の風圧力に対応した工法 雪止め・設置する（図示）	品質	形状	色調	寸法 (mm)	備考																	7. とい	<14. 8. 2, 3>表14. 8. 1> ・金属板（銅板を除く。） 種類 板厚 ・谷どい 種類 板厚 ・銅板 板厚 ※一般部0. 35mm、谷どい部0. 4mm ・硬質塩化ビニル樹脂 種類（） 外径（） 厚さ（） 長さ（） ・受金物 材質 形状 足金物 材質 形状 多雪地域 材質 形状 硬質塩化ビニル製集水器の形状 硬質塩化ビニル製あんこうの形状		16 左官工事	1. モルタル塗り (15. 3. 2. 5)	(15. 3. 2. 5) モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料 既調合材料（） 形状（※図示） 既製目地材 ・設ける 施工箇所（） ・設けない 床の目地 ・設ける（目地割り ※2 m程度（最大目地間隔3 m程度） （種類 ※押し目地） ・設けない 外装タイル張り下地等の下地モルタル塗り及び下地調整塗材塗りの接着力試験 ・適用する ・適用しない 防水剤（品質・性能）、（試験方法） ※建築材料等品質性能表による																																																																																																																																																																																																																																											
板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ (mm)	屋根葺形式	固定釘等の材質																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
※JIS G 3322の屋根用コイル			・平葺（一文字葺） ・心木あり瓦棒葺 ・心木なし瓦棒葺 ・横葺 ・立平葺																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ (mm)	軒先面戸板	耐火性能																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	・重ね形 ・はぜ縫形		（）種			・有り ・無し	・30分 ・無し																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
材質	形状	寸法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
品質	形状	色調	寸法 (mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

木質工事特記仕様書

1. 一般事項

- (1) 適用範囲
※本仕様書は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。
木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。
- (2) 設計図書
設計図書とは標準図、特記仕様書、設計図、指示書（現場説明書及び質疑回答書を含む）をいう。
- (3) 準拠する図書
設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。（※全て最新版による。）
「木造住宅工事仕様書」（住宅金融支援機構監修）
「公共建築木造工事標準仕様書」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造計画・設計基準」（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）
「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」（日本住宅・木材技術センター）
「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」
上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。
- (4) 設計図書の優先順位
設計図書の優先順位は下記による。
1. 指示書（現場説明書及び質疑回答書） 3. 特記仕様書
2. 設計図 4. 標準図
- (5) 疑義
疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監理者に申し出、その処理方法について協議する。
- (6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出
工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監理者の承諾を受ける。
- (7) 施工図及びプレカット図の提出
工事に先立ち各種の施工図を作成し監理者の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。
- (8) 製作工場の選定、承諾
設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監理者の承諾を受ける。
- (9) 各種試験・検査報告書の提出
施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

2. 材料の品質 ☒は適用項目を示すものとする。

2.1 木質材料
構造材は、「JAS材」または、「KTS」材とする。（磨き丸太を除く）
註. 「KTS」材とは、「京都木材規格」をいう。

(1) 構造用製材
本項の内容は特記無き限り、構造用製材を対象とし、製材の日本農林規格に準拠する。
☒【構造用製材】

部 位	樹種名	強度等級	乾燥処理	保存処理	材面の美観
土台	ヒノキ	一等級	未仕上材 D20 仕上材 SD15	K3	
柱	ヒノキ				
梁、母屋、棟木					
間柱、筋交					
小屋束、雪割方、方杖、火打					
垂木					

国産ヒノキ等材を使用しする。

- ☒ 主要構造部には機械等級区分製材を用いることを原則とする。
背割りを行う部材の有無
☒ 有（背割りを行う場合は、見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。）
ただし、磨き丸太については、背割りの後理木を行うこと。
☐ 無
☒ 強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等注意到意して材料を選定し、仕口や接合部に欠点が当たらないように注意する。
☒ 材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級1級相当とする。
- (2) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)
本項の内容は特記無き限り、集成材及び単板積層材の日本農林規格に準拠する。
☐ 【構造用集成材・LVL】
ラミナの枚数や特殊な試験については必要に応じて特記する。
- | 部 位 | 樹種名 | 品 名
(LVLの場合は区分) | 強度等級
(LVLの場合は曲げ性能) | 材面の品質 | 使用環境 | ホルムアルデヒド
放 散 量 |
|-----|-----|--------------------|-----------------------|-------|------|-------------------|
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

- (3) 構造用合板、構造用パネル (OSB)、パーティクルボード、MDF等
本項の内容は特記無き限り、合板及び構造用パネルの日本農林規格又はパーティクルボード及びMDF等の日本工業規格に準拠する。
☒ 構造用合板・構造用パネル (OSB)、パーティクルボード、MDF等
単板の樹種及び構成や防虫処理については必要に応じて特記する。
- | 部 位 | 強度等級
(OSBの場合は曲げ性能) | 板面の品質
(注1) | 接着の程度
(構造用合板の場合に記入) | 寸 法 | ホルムアルデヒド
放 散 量 |
|-----|-----------------------|---------------|------------------------|------------|-------------------|
| 耐力壁 | JAS2級 | C~D | 特類 | 厚さ
12mm | F☆☆☆☆ |
| | | | | | |
| | | | | | |

注1. 構造用合板の板面の品質は、通常は1級がB-C、2級がC-D
OSBの場合は、表面及び裏面に木材の小片の浮き上がりがなく及び側面の切断面が平滑であること。
注2. 特注品の場合は納期に注意すること (2ヶ月以上)

(4) 丸太・そま角
☐ 【丸太・そま角】
本項の内容は特記無き限り、素材の日本農林規格などに準拠する。

部 位	樹種名	縦振動ヤング係数区分	仕様等
便所独立柱	スギ (市域産材)	E f 70	磨き丸太 外形無地

ヤング率を測定する場合は、監督員との協議により方法を決定すること。

- 2.2 接合具
接合具の材質は一般普及品を使用することを原則とし、特殊なものを使用したい場合は特記とする。
接合具に錆を生じる恐れのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。標準めっき処理は溶融亜鉛めっき鋼板：Z27 (JIS G 3302) 電気亜鉛めっき：Ep-Fe/Zn8/CM2とする。

(1) くぎ、木ネジ

種 類	材 質	径 (mm)	長さ (mm)	使用箇所	頭部／鋼部形状		
☒ N釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N	2	50, 75, 90	耐力壁、床板、屋根	皿頭綱目付き / スムース
☐ C N釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N			耐力壁、床板、屋根	平頭フラット
☐ Z N釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N			補強金物	平頭フラット／バーブ
☒ S釘	ステンレス	JIS G 4309	SUS304			耐力壁、床板、屋根	皿頭フラット及び綱目付き / スムース
☐ G N釘	鉄	JIS G 3532	SWM-N			石膏ボード用	平頭フラット
☐							

(2) 木質構造用ビス

製品名	径 (mm)	長さ (mm)	使用箇所
☒ 木質構造用ビス	設計図による	設計図による	設計図による
☐			
☐			
☐			

(3) ボルト、ナット、座金
ボルト・ナットはJIS B 1180、JIS B 1181の規格及び付属書JAによる。

種 類	材 質	径 (mm)	長さ (mm)	防錆処理、使用箇所など
☒ 呼び径六角ボルト	鉄	JIS G 3141 JIS G 3505 JIS G 3507-1	SS400 SWRM8~10 SWRCH8~10	設計図による ☐ 電気亜鉛めっき ()
☐ 有効径六角ボルト				
☐ 全ネジボルト	ステンレス	JIS G 4303	SUS304	設計図による 生地
☐				
☒ アンカーボルト	鉄	JIS G 3101 JIS G 3138 JIS G 3505 JIS G 3507-1	SS400 SNR400B-490B SWRM8~10 SWRCH8~10	設計図による ☐ 電気亜鉛めっき ()
☐	ステンレス	JIS G 4303	SUS304	生地
☐				
☒ 角座金	鉄	JIS G 3131	SPHC SS400	設計図による ☐ 電気亜鉛めっき ☒ (溶融亜鉛メッキ)
☒ 丸座金	ステンレス	JIS G 4303	SUS304	設計図による (生地) カラーステンレス
☐				

・設計図及び標準図記載以外の座金は、特記なき限り用途と (引張、せん断) に下表により使い分ける。
尚、ボルトとの組み合わせにより耐力が決まっている羽子板ボルト等の座金は、その仕様に準ずる。（単位：mm）

座金の大きさ	ボルト径					
	8	10	12	16	20	24
引張を受けるボルト	厚さ	4.5	4.5	6	9	9
	角座金の一辺	40	50	60	80	105
	丸座金の直径	45	60	70	90	120
					120	140
せん断を受けるボルト	厚さ	3.2	3.2	3.2	4.5	6
	角座金の一辺	25	30	35	50	60
	丸座金の直径	30	35	38	48	58
					58	68

(4) ドリフトピン、ラグスクリュー、木栓

種 類	材 質	径 (mm)	長さ (mm)	防錆処理、使用箇所など
☐ ドリフトピン	鉄	JIS B 1180	強度区分4.6又は4Tに適合する炭素鋼	φ13 113 ☐ ユニクロームメッキ ☐
☐ ラグスクリュー (コーチボルト)	鉄	JIS B 1180	強度区分4.6又は4Tに適合する炭素鋼	☐ 電気亜鉛めっき ☐ ()
☒ 木栓	堅木 (樹種：ヒノキ)			

- ・ドリフトピンの先端テーパー部の長さ：10mm以下
・木栓はナラ・ケヤキ・カシ等、気乾比重0.6以上の広葉樹で、節や目切れ等の欠点の無いものとし先端は、3～5mm程度面取りすること。

(5) 接合金物、鋼材、ステンレス鋼材

種 類	品 名	短期許容接合耐力	メーカー等	防錆処理、使用箇所など
☐ 筋かい耐力壁の接合部	設計図による	設計図による	設計図による	☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき ☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
☒ 柱脚接合部	設計図による	設計図による	製作品	☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき ☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき ☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
				☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
				☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
				☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
☐ 横架材接合部	設計図による	設計図による	設計図による	☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき ☐ 溶融亜鉛めっき ☐ 電気亜鉛めっき
☐ 鋼材	スラブ・トレス		BXカネシン	() () () ()
☐ ()				()
☐ ()				()
☐ ()				()

(6) 接着剤 (接着接合)
ここという接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とする。

製品名	使用箇所	備 考
☐		
☐		
☐		

3. 耐久性 (防腐・防蟻・耐候処理) ☒図を適用

- (1) 木材の防腐・防蟻処理
木材の防腐・防蟻処理は以下のいずれかとする。
・高耐久材の使用 (注：部材は心材あるいは心持ち材または集成材とする)
☒ 工場処理材 (注：現場の加工、切断、穿孔箇所などは、現場処理に準じる)
保存処理材 (性能区分) ： K5 K4 (K3) K2 K1
AQ認証保存処理材： 1 種 (2 種) 3 種
☒ 現場処理：塗布、吹付、浸漬 (特記無き場合は、処理量： 300 ml/m² 、処理回数：2回)
(注：接合部、亀裂部、コンクリートなどに接する部分は、特に入念な処理を行う。
給排水用塩化ビニル管に接する部分は、薬剤による損傷を防ぐため管を保護する。
処理方法は、日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。)
- 使用薬剤：日本しろあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする。

使用部位	高耐久材	工場処理材	現場処理
土台	☐ ()	☒ K3 ☐ ()	☐ 塗布
外周柱下部1m	☐ ()	☐ K3 ☐ ()	☐ 塗布
外周筋かい下部1m	☐ ()	☐ K3 ☐ ()	☐ 塗布
外周木質系面材耐力壁下部1m	☐ ()	☐ K3 ☐ ()	☐ 塗布
水周り	☐ ()	☐ K3 ☐ ()	☐ 塗布
その他	☐ ()	☐ K3 ☐ ()	☒ (塗布)

- (2) 土壌処理
☐ 防蟻薬剤による処理：薬剤 ()
特記無き場合は、日本しろあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等以上の効力を有するものとする。
☐ 防蟻薬剤による処理と同等以上の対策 ()
☐ 土壌処理省略 ☐ 北海道 ☐ 東北 ☐ 北陸 ☐ ()
注：処理範囲は、外周部基礎の内側、内部部基礎の周辺20cm、東石等の周囲20cmを標準とし、処理方法は日本しろあり対策協会の標準仕様書に準じる。
- (3) 耐候処理 (塗装)：劣悪環境に置かれる木材等を対象とする。

部位	製品名 (会社名)	塗り回数
素地あらわし部分	オスモカラー	3回塗り
素地あらわし部分	キシラデコール	3回塗り
素地あらわし部分	ノンロットB205Z	3回塗り

4. 材料品質の検査方法 ☒は適用項目を示すものとする。

- (1) 構造用製材
現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の要領で受け入れ検査を実施し、速やかに監理者に報告する。また係員の立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づいて、適時抜き取り検査を実施する。社内検査で試験本数や抜き取り率の指定がない場合は原則全数とする。検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行う。

検査項目

☒ 含水率測定 ☒ 抜き取り (部位：土台、柱、梁、垂木) ☐ 全数
☐ ヤング率測定 ☐ 抜き取り (部位：) ☐ 全数
☒ 材種・等級の確認 ☐ 抜き取り (部位：) ☒ 全数
☒ 外観検査 ☒ 抜き取り (部位：土台、柱、梁、垂木) ☐ 全数
☒ 寸法検査 ☒ 抜き取り (部位：土台、柱、梁、垂木) ☐ 全数

☒ 日本農林規格の目視等級区分構造用製材、機械等級区分構造用製材を使用する場合は製造工場の認定書の写しを確認する。
☒ 含水率測定の場合は、監理者の指示による。
☒ 抜き取り検査は1000。各施工壁面2サンプルとする。
1サンプルづつ増やす。

- ・材種・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。
・含水率やヤング係数は刻印された表示の確認を原則とし、全乾重量法や静的ヤング係数試験は公的試験場にて行う。含水率計は日本住宅・木材技術センター認定品を、動的ヤング係数は全国木材組合連合会の認定品を用いて測定することを原則とする。
・全乾重量法や静的ヤング係数試験は1荷口につき確認する本数で示す。試験体は実際に使用する同一部材の中から抽出し、木材の試験方法 (JIS Z 2101) に準ずる。
・特記無き場合は、含水率計による測定は、製材加工後の工場出荷前に行う。
・特記無き場合は、動的試験は製材後 (継手などの工場加工前) に行う。

- (2) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)、構造用合板、構造用パネル等
・搬入される全製品について受け入れ検査を実施し、特記仕様書等で指定された所定の製品であることを、日本農林規格 (JAS)－MDF等の場合は日本工業規格 (JIS)－の表示ラベルまたは出荷証明書で確認すること。

- (3) 接合具
・現場または加工工場に搬入される全ての接合具について受け入れ検査を実施し、材質径、長さ製品名等について特記仕様書等で指定された所定の製品であることを確認すること。
・同等性能の接合具を用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得る。
☒ 木製品の接合具については、予め曲げ試験などにより性能の確認を行いその結果を報告する。また必要に応じて立会いによる性能確認を実施する。

- (4) 接合金物
・現場または加工工場に搬入される全ての接合金物について受け入れ検査を実施し、材質、形状製品名等について特記仕様書等で指定された所定の製品であることを確認すること。
・同等認定品や性能評価品等を用いる場合には、その主旨を監理者に申し出、承諾を得る。

5. 木材の加工 (全て適用)

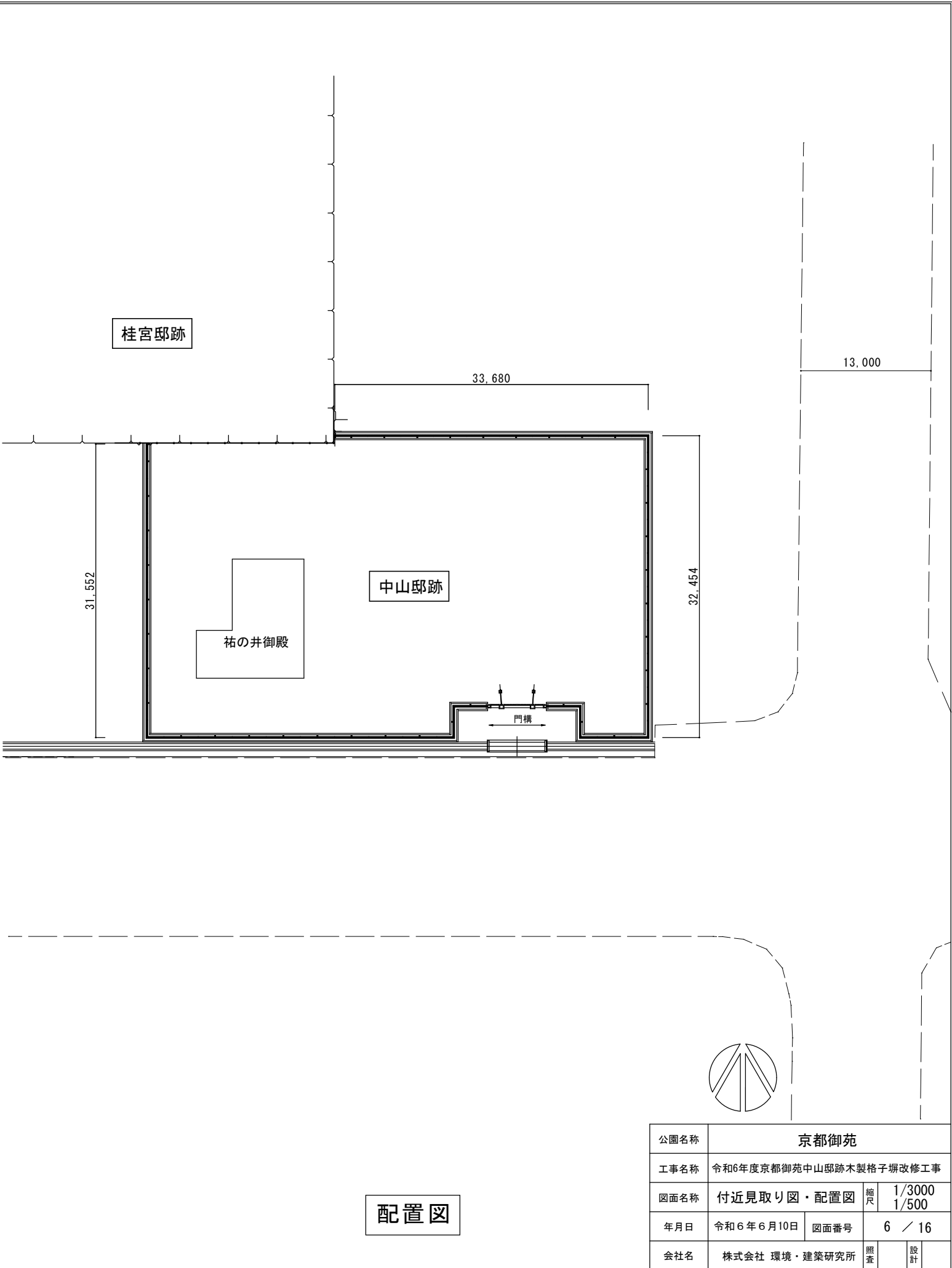
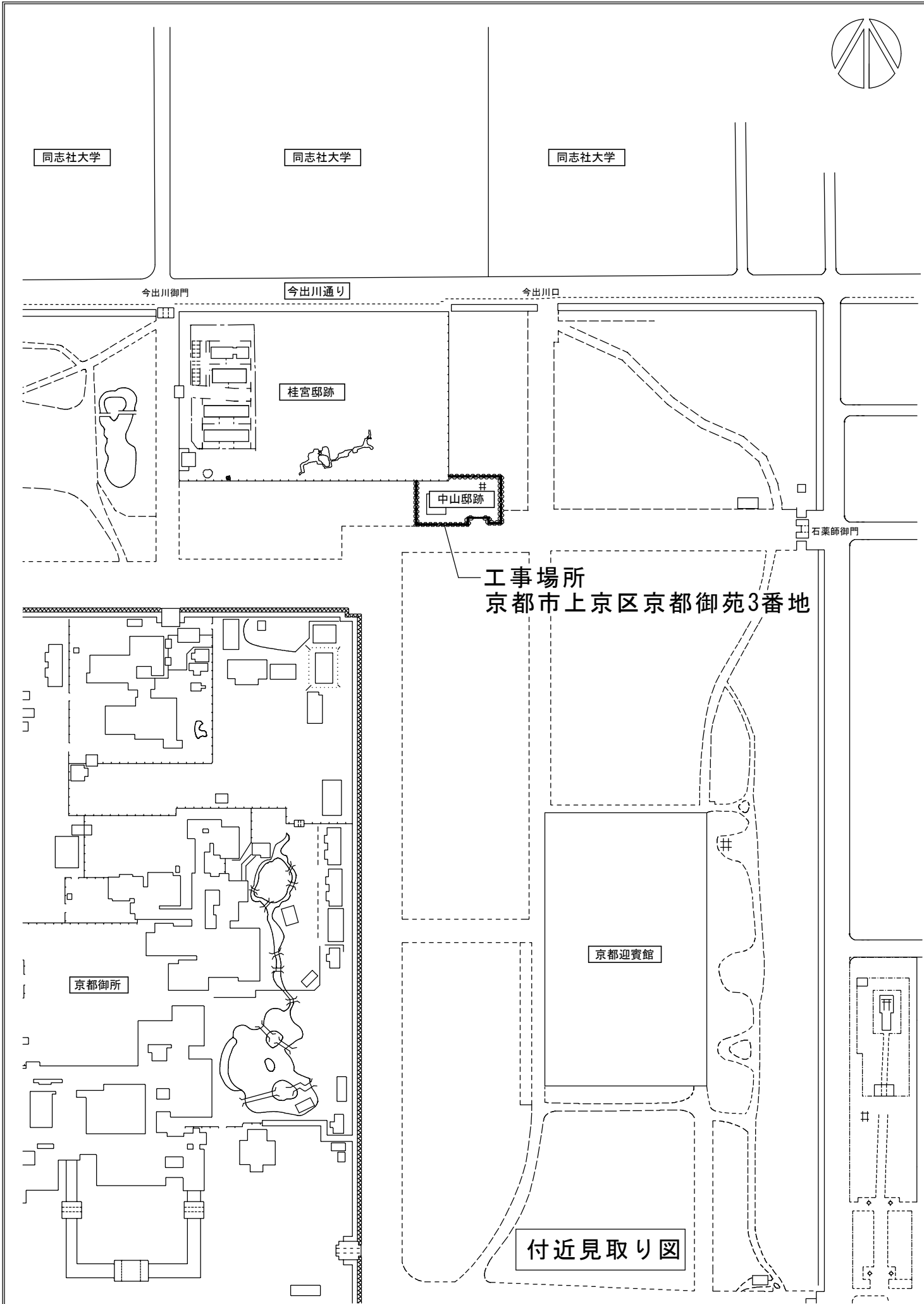
- (1) 刻み時の注意
製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。
- (2) 加工寸法の精度
図面表示は仕上がり寸法である。
下記を除き、2. 1木質材料に示す材の仕上げ後の断面寸法の許容差は各々の農林規格の寸法許容差に準ずる。ただし、上限値が制限なしとなっている場合は、協議による。
- 材種：☐ () ☐ ()
構造用製材、構造用集成材、LVLの材長
☒ 軸組工法の継ぎ手仕口及び金物工法の場合：±1.

使用材料表 1							<5. 2. 2>
・「製材の日本農林規格」による目視等級区分構造用製材 G							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	構造材の種類	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
貝形冠木 大斗丸桁	桧 桧 桧	図示 図示 図示	柱台継ぎ 梁欠損部埋木 欠損部埋木 欠損部埋木	・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級	・ SD15 ・ SD20		・
○「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 G							<10. 2. 2>
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	形状	含水率		間伐材等の適用
瓦桟・流し桟	杉	図示	○ 2 級 ・ 1 級	図示	・ SD15		○
野地板	杉	図示	図示	図示	図示		○
心木	桧	図示	○ 2 級 ・ 1 級	図示	・ SD15		○
台輪	桧	図示	図示	図示	図示		○
○「製材の日本農林規格」による造作針葉樹製材 G							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	形状	含水率		間伐材等の適用
胸寄：柱、方立、 地長押、土台	桧	図示	○ 無節 ・ 小節	図示	・ SD15		・
・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 G							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	含水率 (%)			間伐材等の適用
			・ 1 等	・ 10 以下	・ 13 以下		
・「製材の日本農林規格」以外の下地用針葉樹製材 G							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率
				・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する () ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	・ A 種 ・ B 種
・「製材の日本農林規格」以外の造作及び仕上げに用いる針葉樹製材 G							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率
				・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する () ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	※ A 種 ・ B 種
・「製材の日本農林規格」以外の造作及び仕上げに用いる広葉樹製材 G							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	材面の品質	乾燥処理の適用	防虫処理の適用	難燃処理の適用	含水率
				・ 適用する ・ 適用しない	・ 適用する () ・ 適用しない	・ 適用する ・ 適用しない	※ A 種 ・ B 種
・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」による乙種たて継ぎ材 G							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級				間伐材等の適用
			・ コンストラクション ・ スタナード ・ ユティリティ				
・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」によるMSRたて継ぎ材 G							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	曲げ強度性能 (MSR等級)				間伐材等の適用
							・
・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて継ぎ材 G							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	含水率 (%)			間伐材等の適用
							・
・「単板積層材の日本農林規格」による構造用単板積層材 G							
施工箇所	品名	寸法 (mm)	樹種	接着性能 (使用環境)	曲げ性能 (曲げヤング係数区分)	水平せん断区分	保存処理
				・ A ・ B ・ C	・ A 種 ・ B 種		・ K 3
・丸木材 G							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	末口径 (mm)	含水率 (%)			間伐材等の適用
							・
加工前に縦振動ヤング係数を測定し、基準強度を満たしていることを確認すること。(対象部材：)							
・木質接着成形軸材料 G							
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)				間伐材等の適用
							・

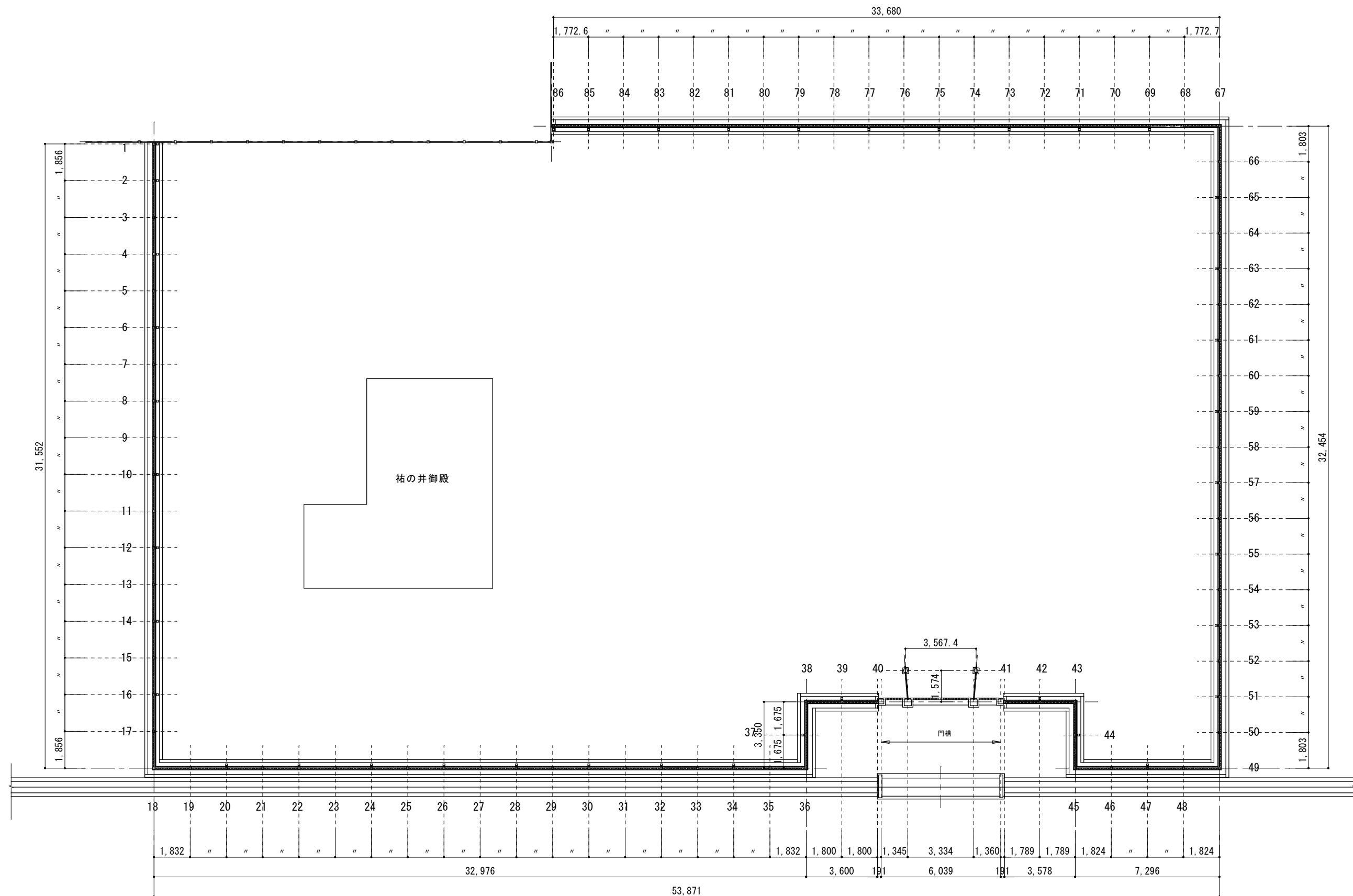
・木質複合軸材料 G							
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)				間伐材等の適用
							・
・木質断熱複合パネル G							
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)				間伐材等の適用
							・
・木質接着複合パネル G							
施工箇所	形状	寸法 (mm)	含水率 (%)				間伐材等の適用
							・
・CLT (直交集成材) G							
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	種別	接着性能 (使用環境)	間伐材等の適用
使用材料表 2							<5. 2. 3>
・構造用パーティクルボード G							
施工箇所	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	耐水性 による区分	厚さ (mm)			間伐材等の適用
							・
・構造用MDF							
施工箇所	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	接着剤 による区分	厚さ (mm)			間伐材等の適用
							・
・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G							
施工箇所	厚さ (mm)	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)	保存処理
		・ 2 級 ・ 1 級		・ 1 類 ・ 特類			
・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G							
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用			
			・ 1 級 ・ 特類	・			
構造用パネルの日本農林規格」による構造用パネル G							
施工箇所	厚さ (mm)	曲げ性能 (等級) (・ 常態曲げ試験 ・ 湿潤曲げ試験)		間伐材等の適用			
		・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級 ・ 4 級		・			
・パーティクルボード G							
施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	耐水性 による区分			間伐材等の適用
							・
・ハードファイバーボード G							
施工箇所	厚さ (mm)	油、樹脂等の 特殊処理	表面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	難燃性 による区分		間伐材等の適用
		・ 構造材Ⅰ ・ 構造材Ⅱ	・ 甲種 ・ 乙種				
・パルセメント板 G							
施工箇所	厚さ (mm)	種類	備考				
		かさ密度 による区分	化粧加工の有無 による区分				
		・ 0.9 板 ・ 1.1 板	・ 普通板 ・ 化粧板				
・国土交通大臣の認定を受けた壁倍率の数値を定められた構造用面材 G							
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	含水率 (%)			間伐材等の適用
							・
使用材料表 3							<6. 2. 2>
・「集成材の日本農林規格」による構造用集成材 G							
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	材面の品質	接着性能 (使用環境)	保存処理
・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱 G							
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面 の品質	間伐材等の適用
			芯材：	等級		・ 1 等 ・ 2 等	・
・「単板積層材の日本農林規格」による構造用単板積層材 G							
施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	接着性能 (使用環境)	曲げ性能 (曲げ ヤング係数区分)	水平せん断区分	保存処理
				・ A ・ B ・ C	・ A 種 ・ B 種		・ K/3
・「製材の日本農林規格」による目視等級区分構造用製材 G							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	構造材の種類	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
				・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級	・ SD15 ・ SD20		・
・「製材の日本農林規格」による機械等級区分構造用製材 G							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (等級)	含水率	保存処理		間伐材等の適用
				・ SD15 ・ SD20			・
・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材 G							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	含水率 (%)			間伐材等の適用
							・
(注) 無等級材、広葉樹製材及び丸木材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。 無等級材のうち次の樹種については、製材の日本農林規格第6条に定める品質曲げ性能における等級の区分に準拠する。 それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。 あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ (参考) 製材の日本農林規格第6条に定める等級の区分 (機械的等級区分と測定曲げヤング係数)							
	等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150
曲げヤング率 (×10N/mm)	3.9以上 5.9未満	5.9以上 7.8未満	7.8以上 9.8未満	9.8以上 11.8未満	11.8以上 13.7未満	13.7以上	
・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 G							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	含水率 (%)	保存処理		間伐材等の適用
			・ 特等 ・ 1 等 ・ 2 等				・
加工前に縦振動ヤング係数を測定する部材 (対象部材：)							
・無等級材 G							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	保存処理	強度試験	材面の品質	含水率 (%)	間伐材等の適用
				・ 製材のJAS規格第6条 (対象部材： ・ 縦振動ヤング係数測定 (対象部材：)	・ 製材のJAS規格第6条 ・ IJAS規格第10条ひき角類1等		・
							・
旧JAS規格とは、昭和42年農林省告示第1842号をいう。							
・「製材の日本農林規格」による下地用製材 G							
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	含水率 (%)	保存処理		間伐材等の適用
			・ 1 級 ・ 2 級	・ SD15 ・ SD20			・
・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」による甲種枠組材 G							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理		間伐材等の適用
			・ 特級 ・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級				・
・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」による乙種枠組材 G							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	未乾燥材又は乾燥材の別	保存処理		間伐材等の適用
			・ コンストラクション ・ スタナード ・ ユティリティ				・
・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」によるMSR枠組材 G							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	曲げ強度性能 (MSR等級)	未乾燥材又は乾燥材の別			間伐材等の適用
							・
・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたMSR枠組材 G							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	含水率 (%)			間伐材等の適用
							・

・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」による甲種たて継ぎ材 G							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級				間伐材等の適用
			・ 特級 ・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級				・
・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」による乙種たて継ぎ材 G							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級				間伐材等の適用
			・ コンストラクション ・ スタナード ・ ユティリティ				・
・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」によるMSRたて継ぎ材 G							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	曲げ強度性能 (MSR等級)	未乾燥材又は乾燥材の別			間伐材等の適用
							・
・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたMSR枠組材 G							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	含水率 (%)			間伐材等の適用
							・

・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」による甲種たて継ぎ材 G							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級				間伐材等の適用
			・ 特級 ・ 1 級 ・ 2 級 ・ 3 級				・
・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」による乙種たて継ぎ材 G							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級				間伐材等の適用
			・ コンストラクション ・ スタナード ・ ユティリティ				・
・「枠組壁工法構造用製材及び枠組壁工法構造用たて継ぎ材の日本農林規格」によるMSRたて継ぎ材 G							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	曲げ強度性能 (MSR等級)				間伐材等の適用
							・
・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて継ぎ材 G							
施工箇所	樹種又は樹種群	寸法型式 (mm)	等級	含水率 (%)			間伐材等の適用

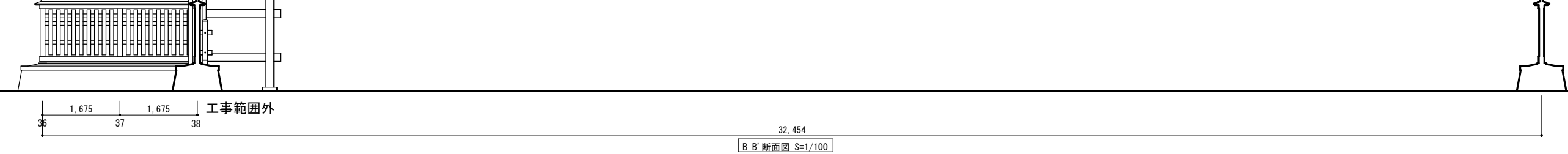
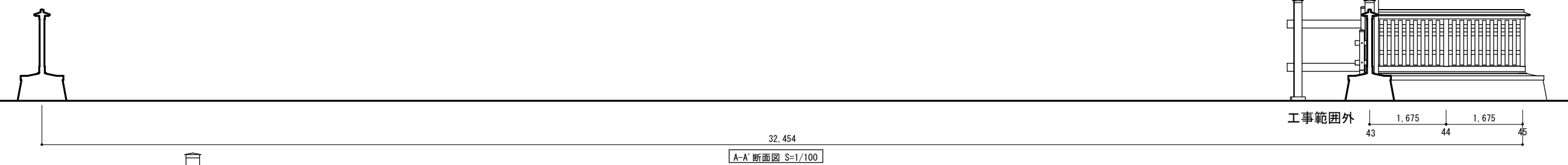
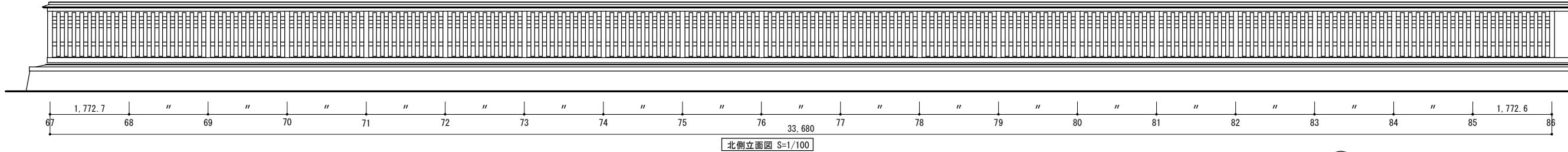
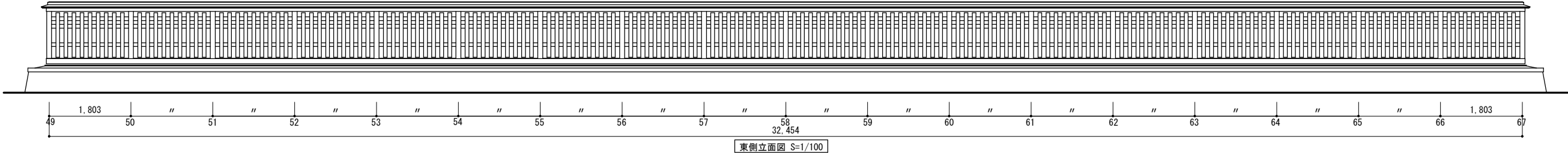
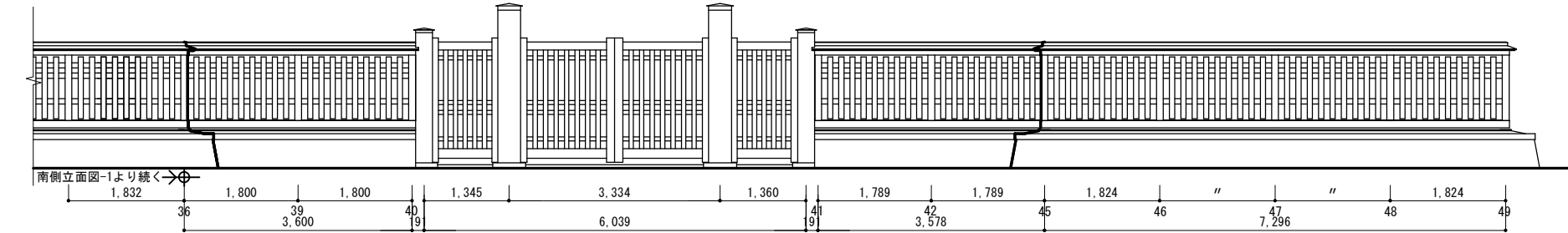
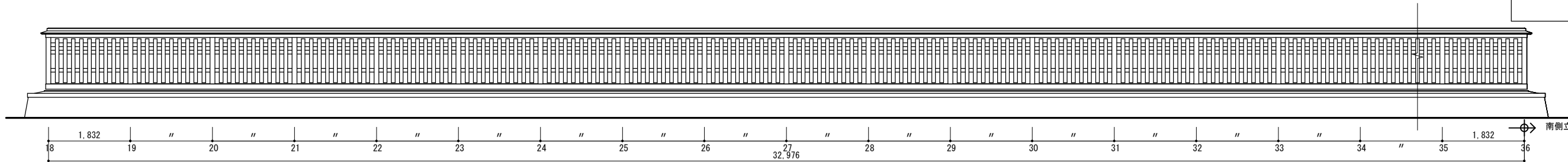
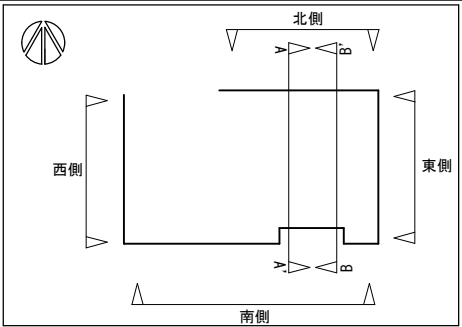
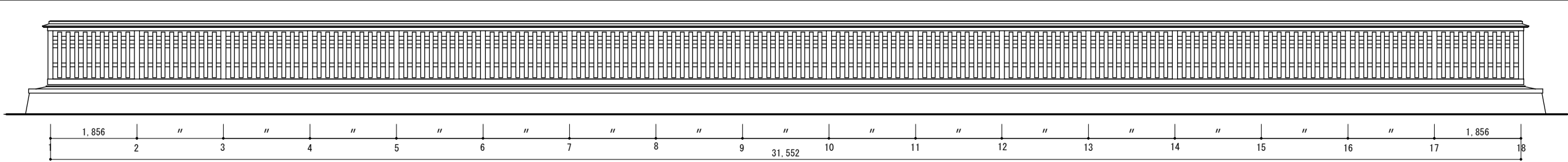


公園名称	京都御苑				
工事名称	令和6年度京都御苑中山邸跡木製格子塀改修工事				
図面名称	付近見取り図・配置図	縮尺	1/3000 1/500		
年月日	令和6年6月10日	図面番号	6 / 16		
会社名	株式会社 環境・建築研究所	照査	設計		
事務所名	環境省京都御苑管理事務所	照査	設計		



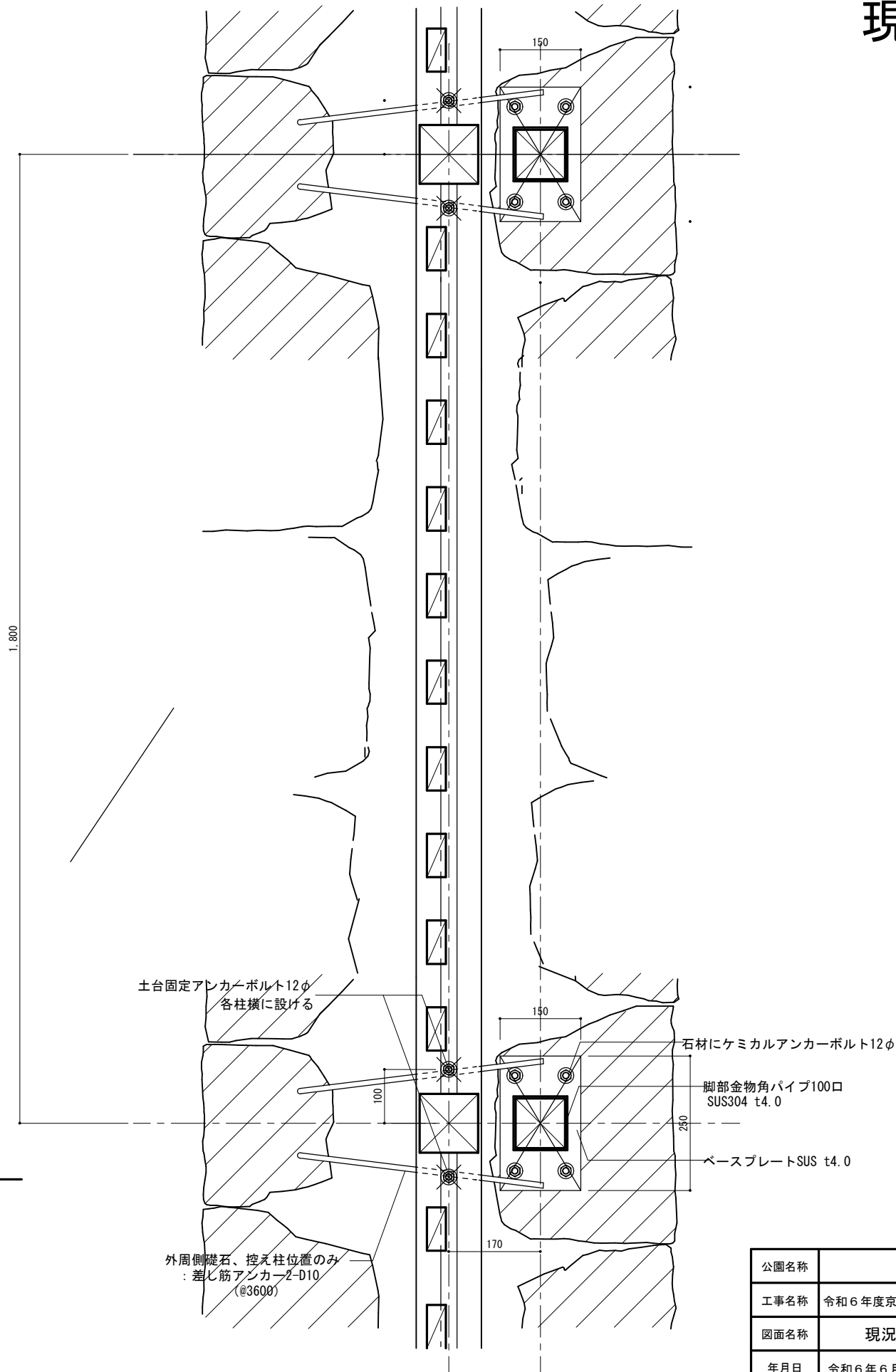
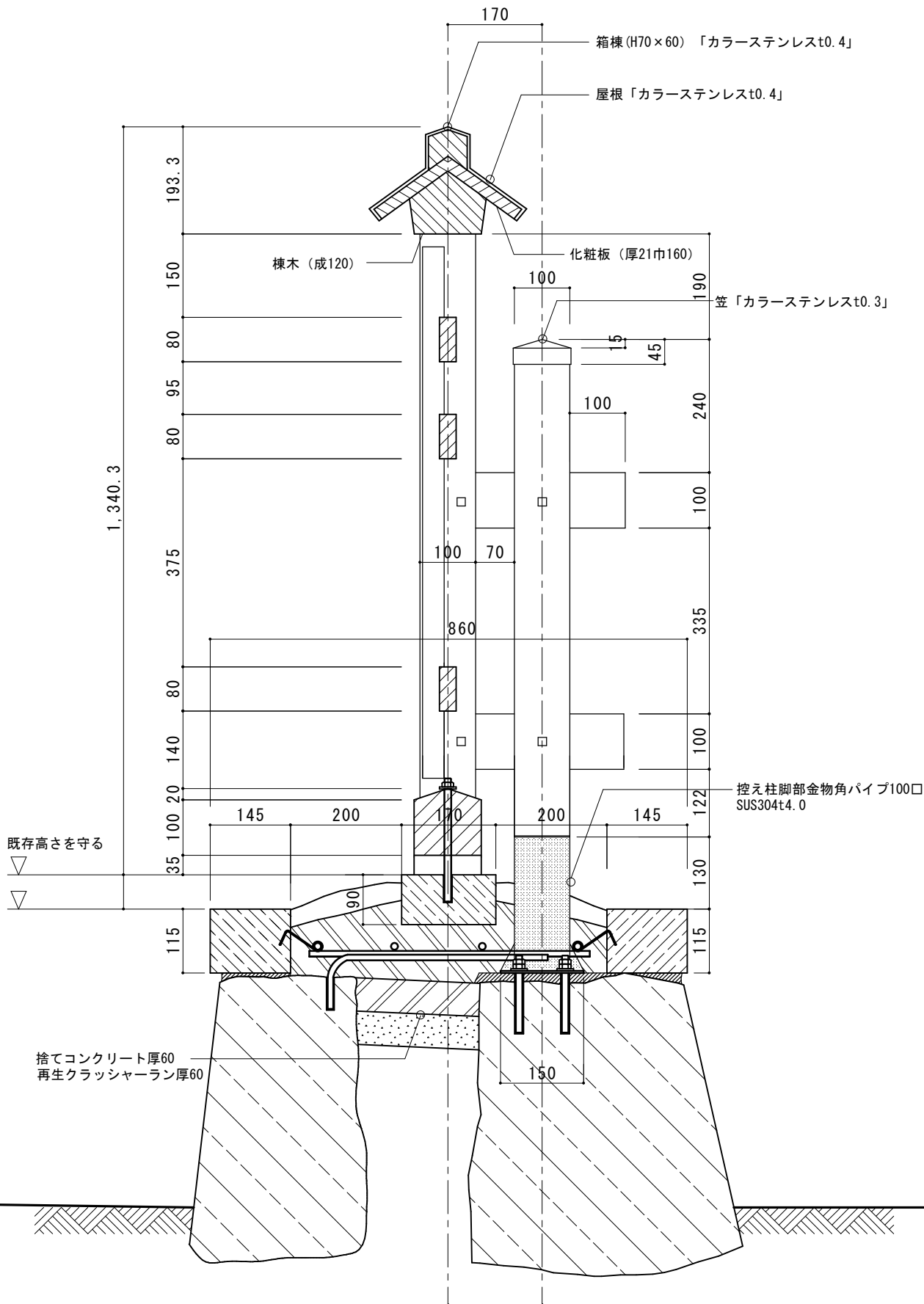
中山邸跡木製格子塀 平面図

公園名称	京都御苑			
工事名称	令和6年度京都御苑中山邸跡木製格子塀改修工事			
図面名称	全体平面図	縮尺	1/200	
年月日	令和6年6月10日	図面番号	7 / 16	
会社名	株式会社 環境・建築研究所	照査	設計	
事務所名	環境省京都御苑管理事務所	照査	設計	



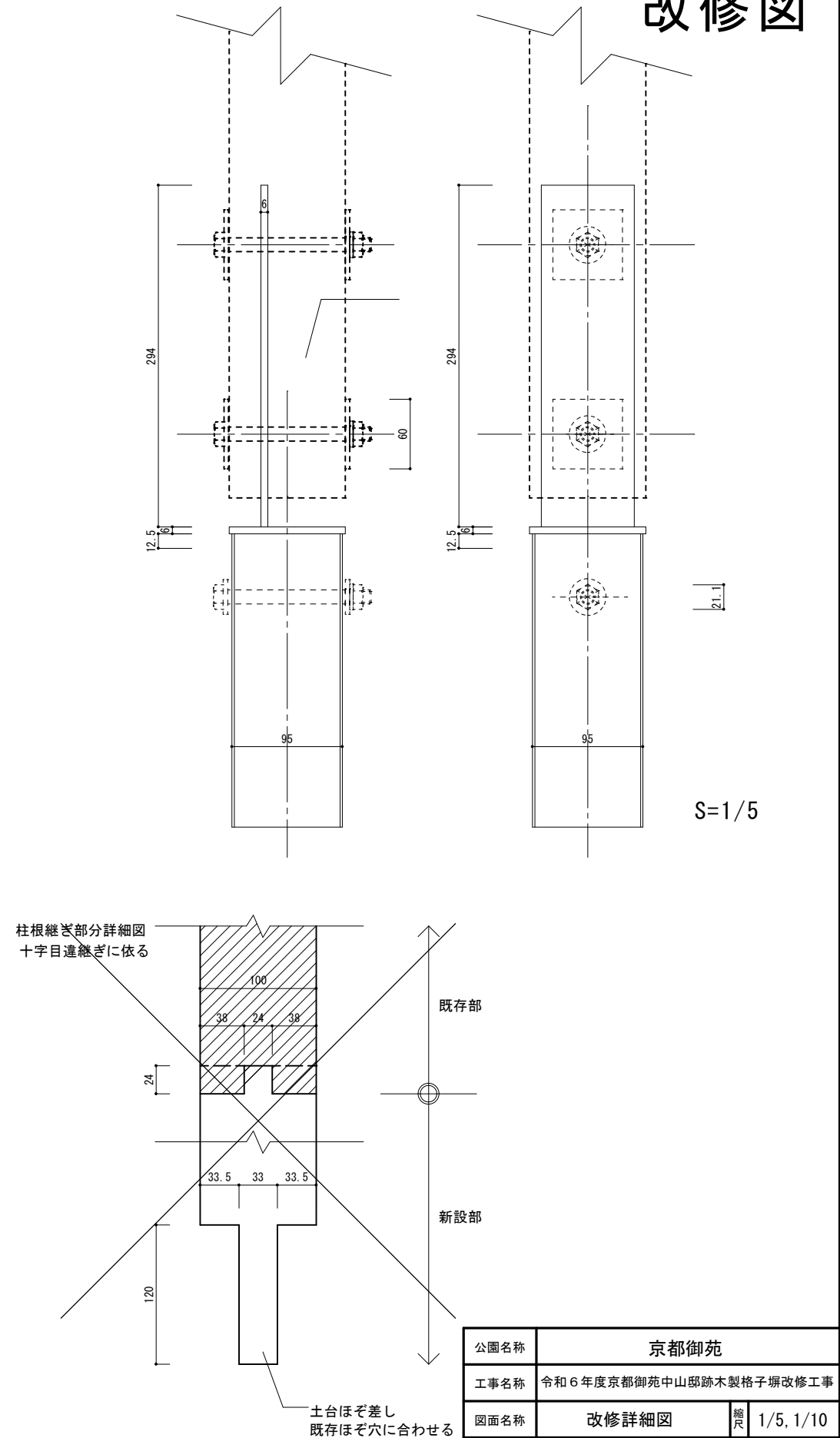
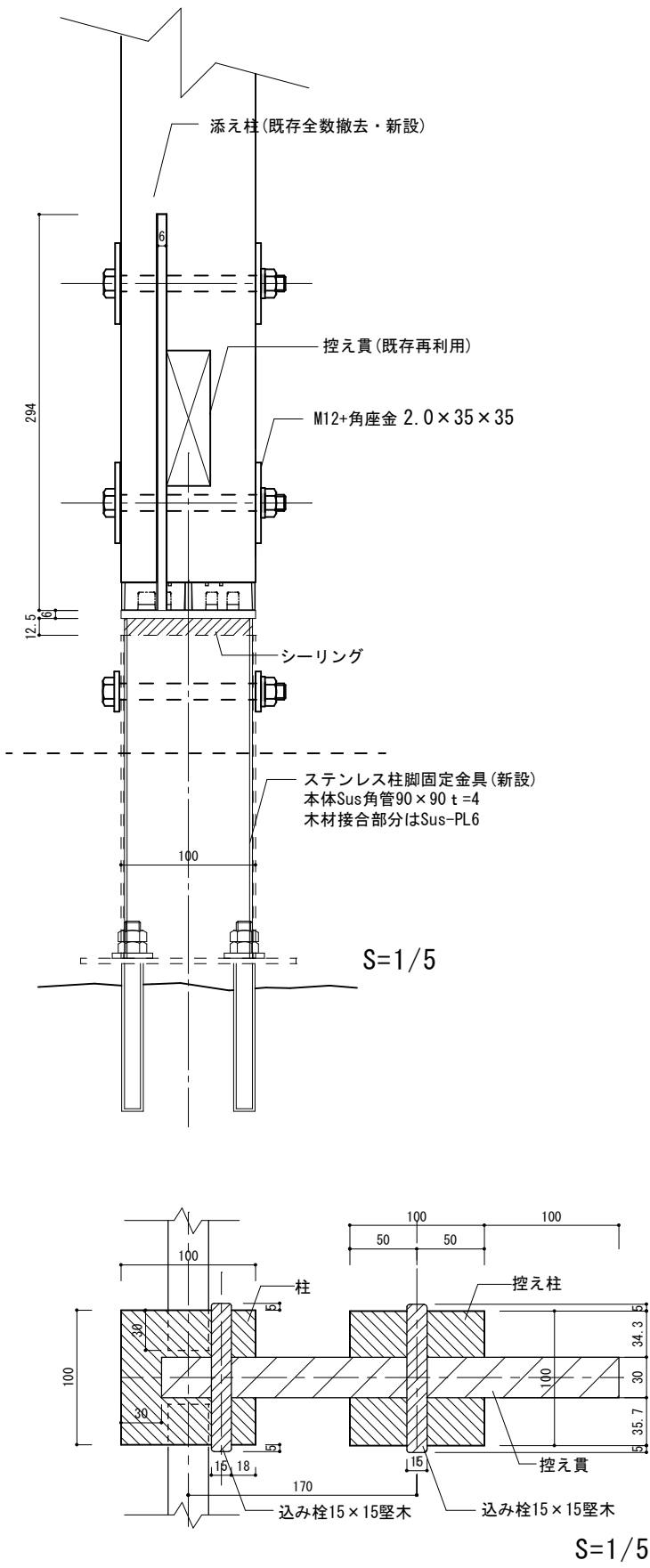
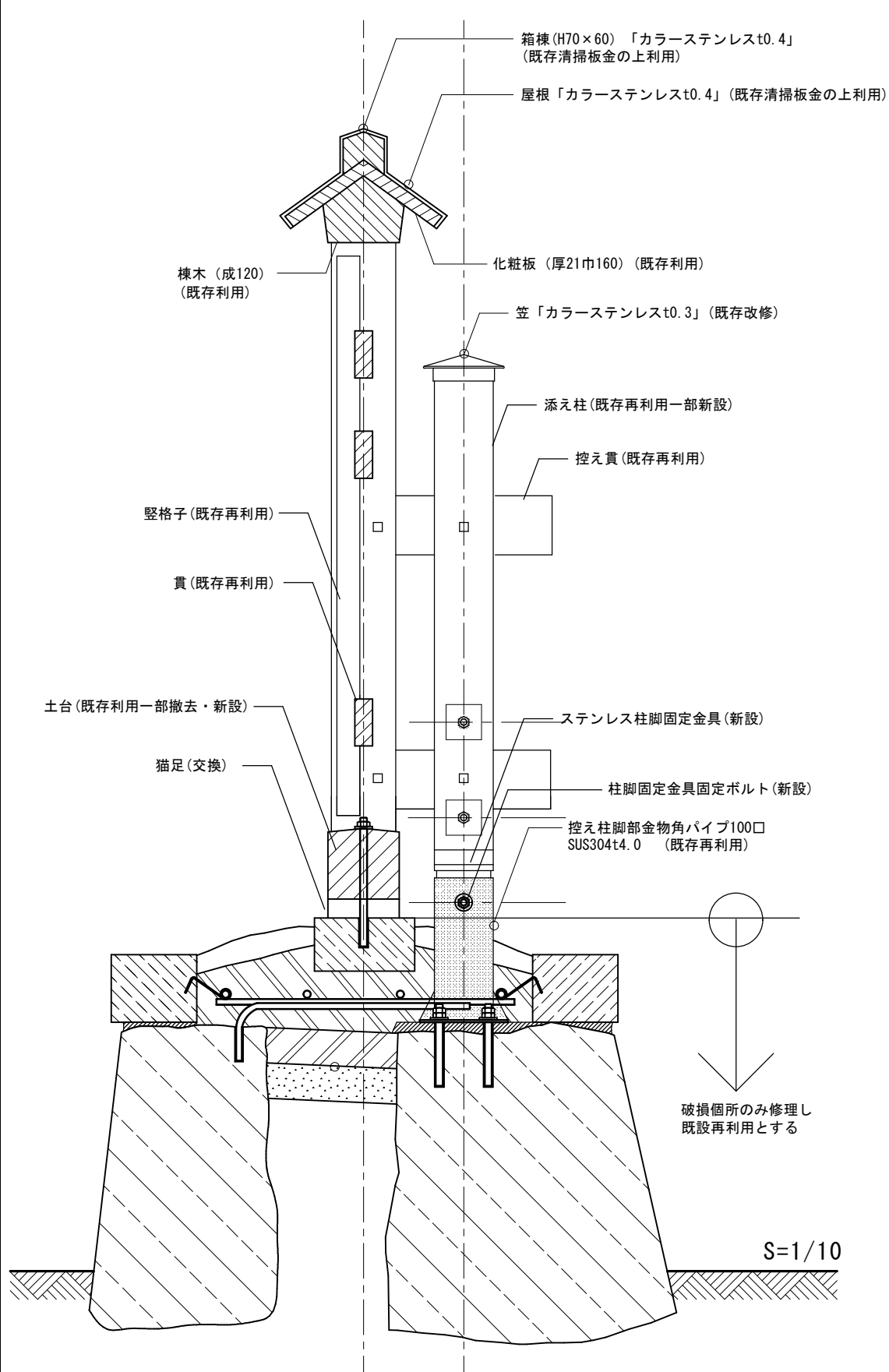
公園名称	京都御苑				
工事名称	令和6年度京都御苑中山邸跡木製格子子塀改修工事				
図面名称	全体立面図	縮尺	1/100		
年月日	令和6年6月10日	図面番号	8 / 16		
会社名	株式会社 環境・建築研究所	照査	設計		
事務所名	環境省京都御苑管理事務所	照査	設計		

現況図



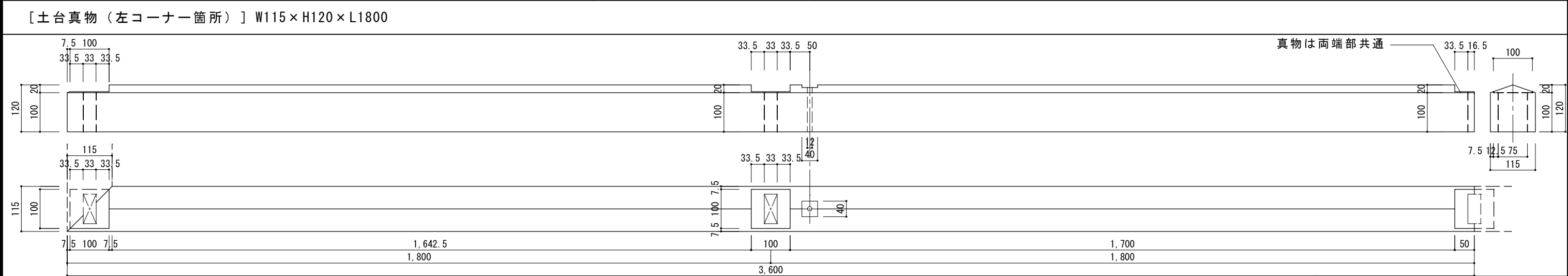
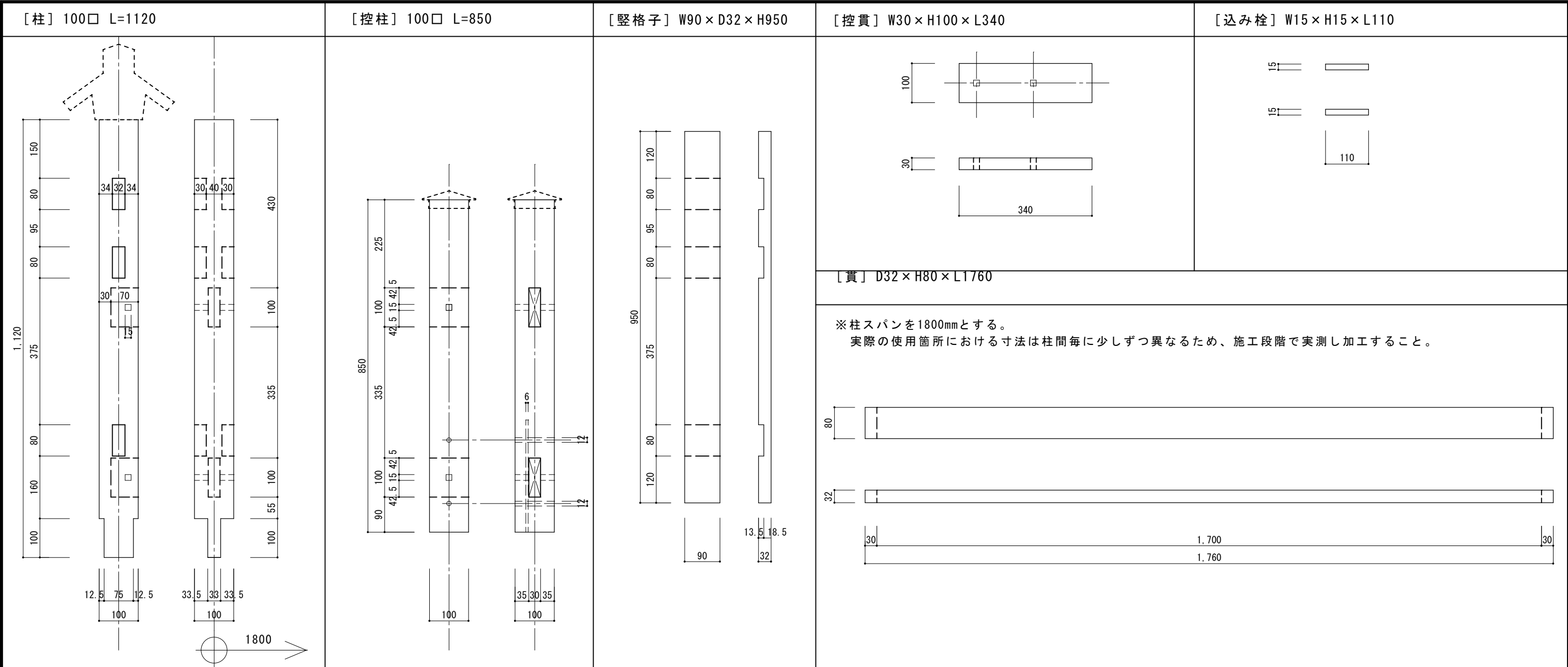
公園名称	京都御苑			
工事名称	令和6年度京都御苑中山邸跡木製格子塀改修工事			
図面名称	現況詳細図	縮尺	1/10	
年月日	令和6年6月10日	図面番号	9 / 16	
会社名	株式会社 環境・建築研究所	照査	設計	
事務所名	環境省京都御苑管理事務所	照査	設計	

改修図



注意事項 新設となるステンレス柱脚固定金具については、製品の均質な品質と経済性に鑑み、南面で将来使用する分13基も含めて製作し、見掛の塗装を済ませて、付属するボルト、ナット、座金とともに、監督員の指示する京都御苑内の倉庫に運搬して保管すること。

公園名称	京都御苑				
工事名称	令和6年度京都御苑中山邸跡木製格子塀改修工事				
図面名称	改修詳細図	縮尺	1/5, 1/10		
年月日	令和6年6月10日	図面番号	10 / 16		
会社名	株式会社 環境・建築研究所	照査		設計	
事務所名	環境省京都御苑管理事務所	照査		設計	



注意事項

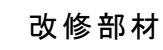
※柱スパンを1800mmとする。

実際の使用箇所における寸法は柱間毎に少しずつ異なるため、施工段階で実測し加工すること。

※真物は両端部で本図右端部の継手となる。

※部材数量は各木製格子等改修立面図に依る。

公園名称	京都御苑			
工事名称	令和6年度京都御苑中山邸跡木製格子塀改修工事			
図面名称	改修木製部材一覧	縮尺	1/10	
年月日	令和6年6月10日	図面番号	11 / 16	
会社名	株式会社 環境・建築研究所	照査	設計	
事務所名	環境省京都御苑管理事務所	照査	設計	

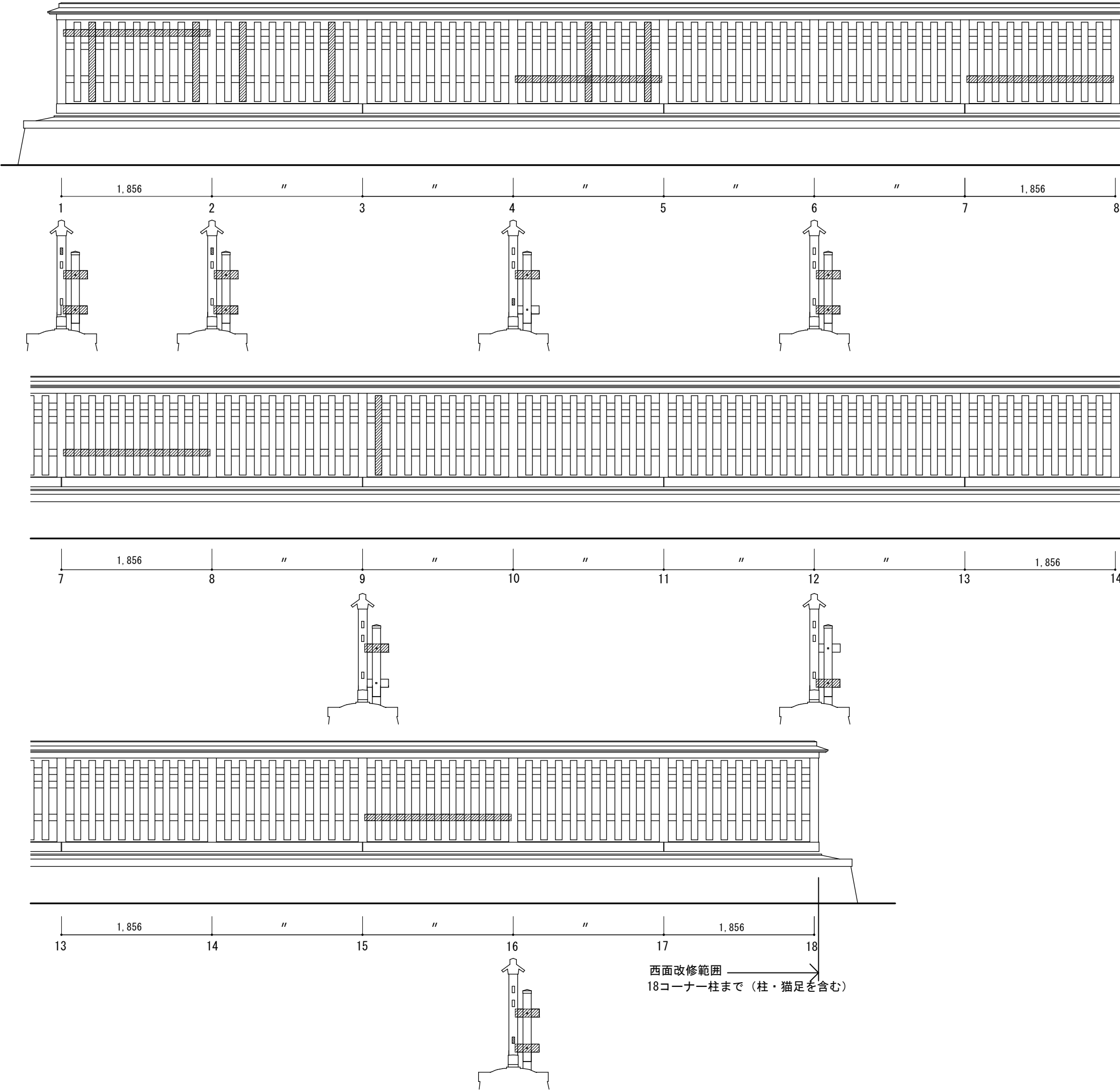


部材	改修方法	箇所数
控柱	撤去・新設（全控柱）	10
猫足	撤去・新設（全猫足）	19
込み栓	撤去・新設（全込み栓）	40
土台	撤去・新設	7+1
柱	撤去・新設	1
控貫	撤去・新設	12
貫	撤去・新設	4
豎格子	撤去・新設	14

※1

※控柱・猫足以外の改修箇所は、本立面図下段の断面図にて示す。
※1 柱85から86の土台のみ2146.7 mmその他土台7本は3545.4mm

公園名称	京都御苑			
工事名称	令和6年度京都御苑中山邸跡木製格子塀改修工事			
図面名称	北面改修立面図	縮尺	1/100	
年月日	令和6年6月10日	図面番号	13 / 16	
会社名	株式会社 環境・建築研究所		照査	設計
事務所名	環境省京都御苑管理事務所		照査	設計



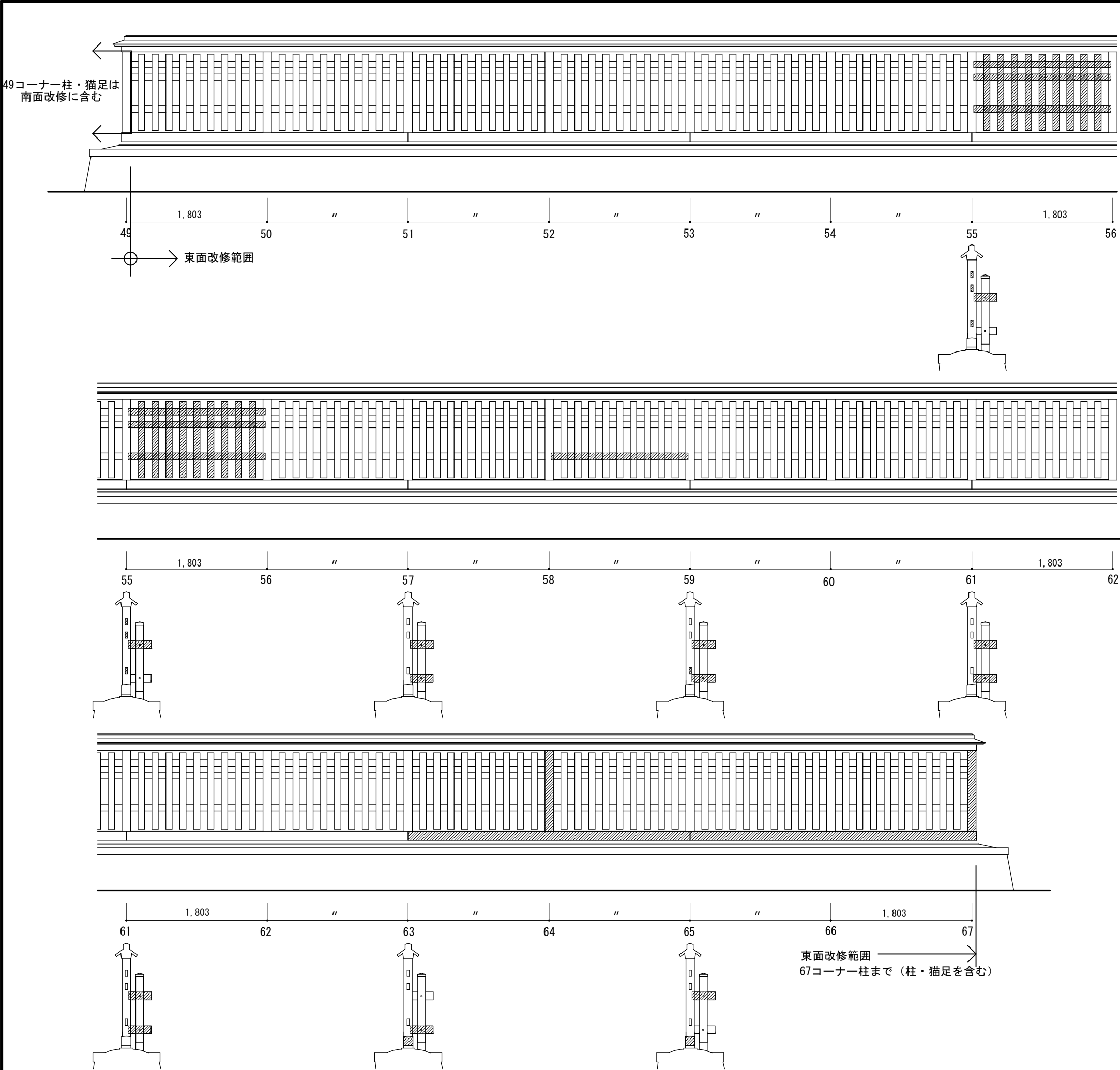
改修部材

部材	改修方法	箇所数
控柱	撤去・新設（全控柱）	9
猫足	撤去・新設（全猫足）	18
込み柱	撤去・新設（全込み柱）	36
土台	撤去・新設	0
柱	撤去・新設	0
控貫	撤去・新設	11
貫	撤去・新設	4
縦格子	撤去・新設	7

※控柱・猫足以外の改修箇所は、本立面図下段の断面図にて示す。

 改修箇所を示す

公園名称	京都御苑				
工事名称	令和6年度京都御苑中山邸跡木製格子塀改修工事				
図面名称	西面改修立面図	縮尺	1/100		
年月日	令和6年6月10日	図面番号	14 / 16		
会社名	株式会社 環境・建築研究所	照査		設計	
事務所名	環境省京都御苑管理事務所	照査		設計	

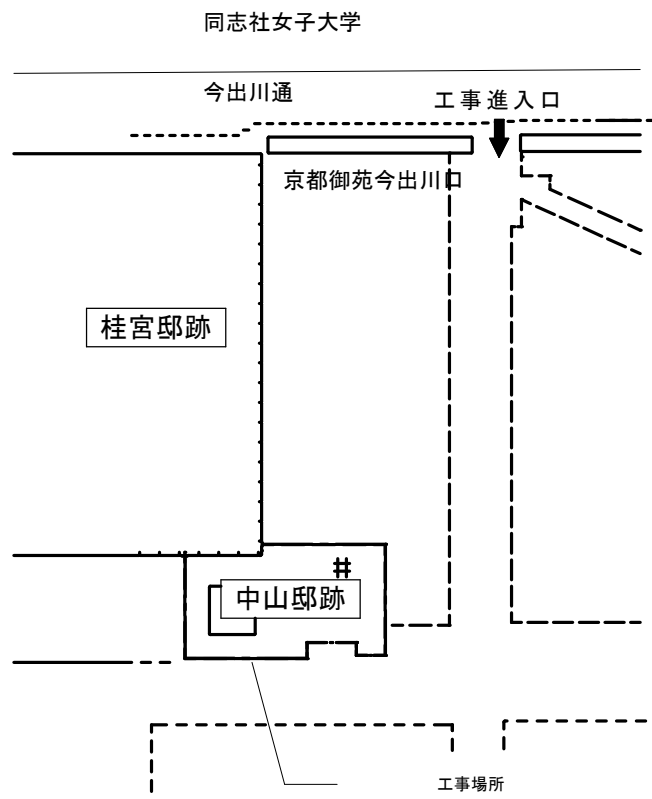


改修部材

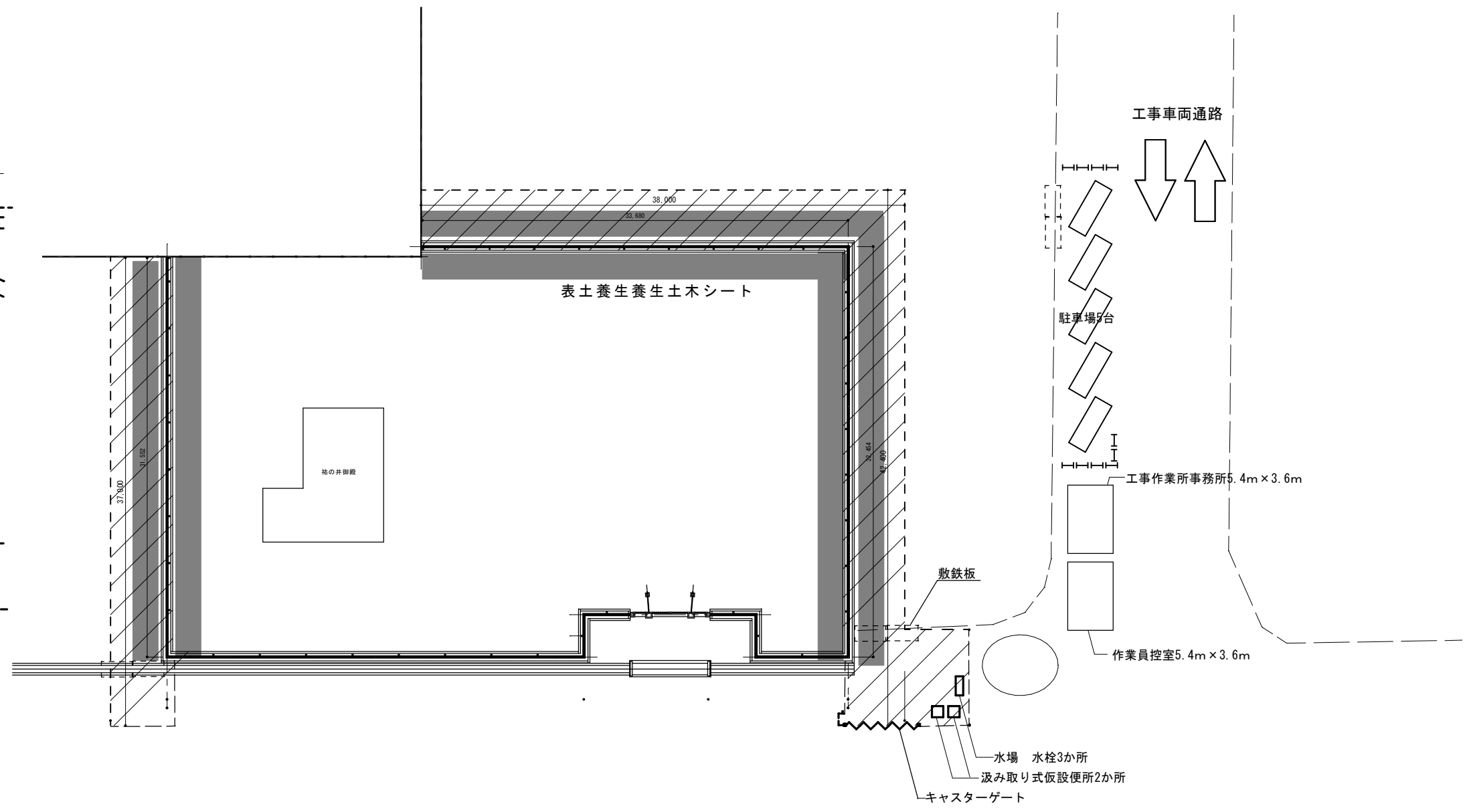
部材	改修方法	箇所数
控柱	撤去・新設（全控柱）	8
猫足	撤去・新設（全猫足）	18
込み栓	撤去・新設（全込み栓）	32
土台	撤去・新設	2
柱	撤去・新設	2
控貫	撤去・新設	9
貫	撤去・新設	4
縦格子	撤去・新設	9

※控柱・猫足以外の改修箇所は、本立面図下段の断面図にて示す。

公園名称	京都御苑				
工事名称	令和6年度京都御苑中山邸跡木製格子塀改修工事				
図面名称	東面改修立面図	縮尺	1/100		
年月日	令和6年6月10日	図面番号	15 / 16		
会社名	株式会社 環境・建築研究所	照査		設計	
事務所名	環境省京都御苑管理事務所	照査		設計	



仮設 平面図 1/2000



仮設 平面図 1/400

凡例

[---] 敷鉄板

~~~~~ キャスターゲート

--- ガードフェンス

--- バリケード

[斜線] 工事作業域を示す

[黒塗り] 表土養生土木シート（塀の内外）

- 注意事項
- ① 工事用地の南側から東側に設置されている石造の排水側溝は、敷鉄板（22×1,219×2,438）等により構造物を保護した上で横断すること。
  - ② 塀の内外は、希少な植物の生育地であることから、土木シートで地表を被覆して表土を保全し、過度な加圧や踏み固めが起こらないよう注意して作業すること。
  - ③ 小型クレーンやクレーン付きトラック等の車両の進入が必要な場合は、事前に加圧対策について担当者と協議してから作業を進めること。

|      |                        |      |         |    |  |
|------|------------------------|------|---------|----|--|
| 公園名称 | 京都御苑                   |      |         |    |  |
| 工事名称 | 令和6年度京都御苑中山邸跡木製格子塀改修工事 |      |         |    |  |
| 図面名称 | 仮設計画図                  | 縮尺   | 1/400   |    |  |
| 年月日  | 令和6年6月10日              | 図面番号 | 16 / 16 |    |  |
| 会社名  | 株式会社 環境・建築研究所          | 照査   |         | 設計 |  |
| 事務所名 | 環境省京都御苑管理事務所           | 照査   |         | 設計 |  |